

# 『東京帝国大学附属図書館所蔵』 絵画本目録稿』 翻刻

## 【解題】

東京大学史料編纂所所蔵[RS4180-8]。袋綴冊子二冊。上册全一〇一丁、下冊全九三丁（白紙を含む）。各二五・七×一八・七センチメートル。「史料編纂掛」用箋に毛筆で墨書。

東京帝国大学附属図書館所蔵の別置されていた貴重本のうち第七類「絵画本」の目録の原稿で、奥書に「明治四十四年（一九一）三月廿日ヨリハジメテ、四月十四日脱稿ス、他日一校スベシ、」とある。全体が一筆で整った形で書写されているが、誤記の訂正や推敲の跡が残り、目録原稿の原本（中書本）と考えておく。作成者については未検討。

一九二三（大正一二）年九月一日の関東大震災で附属図書館は全焼し、この目録に著録される書目も焼失した。したがって、震災焼失した絵画類の全体を復元する資料として貴重な目録となっている。ただし、いわゆる「焼残本」のなかに対応する書目が含まれているどうか、厳密な確認までは行っていない。

帝国大学および附属図書館における震災の被害については、政府による公的な記録として、『大正震災志』下の附録（\*1）がある。ここでは美術品と図書とに分け、美術品として、「図書館に於ては、

- 一、伴大納言絵巻三巻 田中訥言模写
- 一、紫式部日記絵詞二巻 住吉広尚模写
- 一、光明寺本当麻曼荼羅縁起一巻 摸者不明
- 一、竹崎五郎絵詞二巻 摸者不明
- 一、福富草紙一巻 摸者不明
- 一、海洋清宴図巻（清朝初期の画）

其他、浮世絵の版画類で、広重の東海道五十三次の如きは別版の七八種ばかりもあった。」と記述する。震災以前の附属図書館における貴重書は、古文書・古経・古写本・稀覯書新写本・古版本・名家手扱本・絵画・（金石文・印譜）・名家筆跡・札子・写真・標本に分類されており（\*2）、第七類とされた絵画が、『大正震災志』では美術品として扱われたようである。

附属図書館における罹災貴重書について、最も多くの書目を収める公刊された目録は、『中央史壇』一一四（大正一四年一〇月）に掲載の「和漢書目録（東帝大図書館にて焼失せし貴重書）」<sup>（\*3）</sup> と思しい。棒目録ながら、前記の貴重書全分類に及び、簡単な注記も原本が失われた今となっては、貴重な情報を提供する。しかしながら、第七類・絵画の項で本目録稿と突き合わせてゆくと、本目録稿の方が書誌的な事項において詳しいのみならず、収載点数でも大きく上回っている。個別番号も本目録稿から判明するのであるが、その順番で、一・卷子本では一六〇までのうち一三二まで、二・冊子及帖子本では一五八までのうち八八まで、三・挿絵本では二三までのうち二二までしか、『中央史壇』掲載目録では掲載されていない。すなわち『中央史壇』では、震災よりも少し以前に作成された貴重書目録をもって、焼失書目録として掲載したとみられよう。第七類・絵画に属した絵巻・絵本・錦絵（浮世絵）は、本目録稿によって、かなりの部分が把握できると思われる（\*4）。

ただし、本目録稿の脱稿から大震災までの十数年間に、収集・登録された書目は含まれていないことになり、焼失本の全点とも言えない。『東京帝国大学附属図書館増加図書月報』（\*5）の

「十 美術 遊戯」の項を中心に、「別置」とある書目には本目録へ追加されるべきものがある（\*6）ものの、大部分は写真版による大型図録である。明治四四年一〇月に『東京帝国大学附属図書館和漢書書名目録』増加第二が刊行されており、その後は『月報』での増加書目の速報とともに、別置されている貴重書目録の編纂が始められたのかもしれない（\*7）。とはいえ第七類以外の目録編纂の痕跡を把握しておらず、第七類のみとの印象も受ける。『増加目録』においては、「別置」の下の細分類は記されず、棒目録で書誌情報も少ないため、逐一対照しての確認は行っていないが、本目録稿よりも記述が詳しいことはおそらくない。対応を確定できる書目を例示すると、増加第二目録の一七頁「安祿山合戦絵詞」三軸「七一一七」、二九頁「一遍聖絵詞」六条道場本一二軸「七一一二・同六帖」七一一一・藤沢道場本二軸「七一一六八」などでは、本目録稿の方が情報も豊かである。

また、明治三八年二月の第二回東京帝国大学附属図書館展覧会の陳列目録（\*8）と照合すると、「第六類 絵画」として三八点を載せるうち、「日光山輪王寺五層塔図 一幅」「日光山大廟図 二巻」の二点は本目録稿に載っていないが、増加第一目録三四五頁に「教室」と載る。

上冊の冒頭には、本目録稿における分類が表示されている。まず卷子・冊子の形態で分け、絵入り本のうち「特ニ絵画ヲ持テ伝フベキモノに限ル」として挿画本を加えている。この三分類は整理番号を踏襲するものであるが、本目録稿では、形態ごとに通番となっている写本と版本とを、さらに区分しているのが独自である。配列が必ずしも番号順となっていないのは、何に由来するのか詳らかでない。目次に代えて左に丁数を示しておく。

卷子本（写本）	七一一〜一六〇のうち	上冊	1才〜74才
卷子本（版本）	七一一二〜一五五のうち	上冊	90才〜95ウ
冊子・帖子（写本）	七一一〜一五八のうち	下冊	1才〜16才
冊子・帖子（版本）	七一一七〜一五三のうち	下冊	17才〜16才
挿画本（写本）	七一一〜二四のうち	下冊	17才〜81才
挿画本（版本）	七一一七〜二三のうち	下冊	82才〜88才

本年二〇二三年は、関東大震災一〇〇年となる。一点ごとの精査、目録内容の分析は今後の検討に委ねるが、本目録稿を以て失われた絵画を偲ぶよすがとし、これを悼みたい。

【注】

（\*1）内務省社会局編『大正震災志』下（一九二六年）七三五、七六一〜七七二頁。

（\*2）植松安「本邦書誌学概要」（毛利宮彦『図書整理と運用の研究』図書館事業研究会叢書一、同会、一九三六年、五七三・四頁）など。

（\*3）東京大学総合図書館編『東京大学図書館史資料目録』（一九八三年）二四頁に「東京帝国大学附属図書館別置貴重・珍書目録 明治四〇年八月 約二〇〇点 複写 八七枚」を載せるが原物未確認。なお、大野智「関東大震災で焼失した集書類」（『図書館の窓』一六一、東京大学附属図書館、一九七七年）が記事・目録類を概観する。

（\*4）『中央史壇』目録のみに収録される書目としては、本目録稿で空番となっている下記の五件がある。

〔七ノ二ノ四一・四二・四五〕 ※二五頁上段

諸国玩物図

土偶、羽子板等図

一冊

神事行灯五編稿本	松亭金水手稿本	一冊
浮世面譜三編稿本	広重手稿本	一冊
〔七ノ三ノ八・九〕		

〈御存知のかるくち〉 露がはなし

元禄四年版 一冊

正直はなし

元禄版本 挿画 師宣筆 五冊

(\*5) 『東京大学百年史』部局史四(一九八七年) 一二〇四頁に、大正一二年六月の一五八号を最後に刊行されずとするが、前年一二月の一五三号までしか内容を確認できていない。

(\*6) 例えば『月報』一四六(大正一二年四月) 三一頁に「年中行事絵巻 右京大夫光祥光 写 別七ノ一ノ二二三」がある。

(\*7) 『史学雑誌』三四―二(大正一二年十一月) 雑録「焼失せる東大附属図書館所蔵貴重書(一般史学関係)」の前置きには、「大正十二年九月一日の震災に際し、東京帝国大学附属図書館に於て喪失せる図書無慮七十万巻中、稀覯書若くは原本にして副本の存せざるもの尠からず〔一〕特に未整理中に属し、空しく塵埃裡に束ねたるまゝ一抹の煙と化したるもの、俄かに算すべからざるに至りては、痛恨に堪へざる所なり。図書館側に於ても、植松司書官主任となり、その目録編成中なりと伝へらるゝも、とりあへず一般史学関係の部を報道する事とせり。図書館備付原簿の焼失したる今日、目録の完備を期すべからざるは勿論なりと雖も、一斑或は全豹を窺〔窺〕ふに足らんか。」とあるが、その指すところは正確には分からない。なおこの『史学雑誌』の目録で絵画は、七―二八・四五・四六、七―一の四件のみ。

(\*8) 『明治大正期稀書・珍籍書目解題集』二(ゆまに書房、二〇一〇年)に復刻、『考古界』四一〇(一九〇五年)「彙報」三六・七頁にもあり。展観には亀井侯爵家寄託本を含む。

## 【凡例】

- ・ページ数縮約のため、基本的に追い込んだが、適宜、改行位置を／で示した。
- ・資料番号を書名の行頭に移し、書名を太字とするなど、体裁を改めている。
- ・『中央史壇』所収目録などにより、資料番号を空番から推定して「」で補った。
- ・識語等の原文を引用する箇所は、フォントを変えている。
- ・旧字体はおおむね通常字体に改め、一部はⅡとして説明で補った。
- ・印記が□で示されており、(方印)の字句を加え、印文のある場合は「」で括った。
- ・印文では表記された文字に近い字体を用い、華・无・艸・縣・全・羈などを残した。
- ・《》…傍書
- ・〔〕…翻刻者による校訂注・補記
- ・〈〉…小字(ただし意味に関わる一部のみ)

入力…丹藤真子、校正…佐竹朋子、校正・解題…藤原重雄

【翻刻】 上冊

(表紙題箋外題)「絵画本目錄稿」

┌(表紙)

貴重七類ノ一

絵画本目《録》稿 卷子 写本ノ部 上

板本ノ部

┌(扉才)

(朱方印)「史料編纂所図書之印」、(青スタンプ)「15469」

┌(扉ウ)

(白紙)

┌(目次ウ)

別置貴重七類

絵画

一、卷子本

イ、原本描写本

ロ、版本

二、冊子及帖子本

イ、原本描写本

ロ、版本

三、挿画本

イ、描写本

ロ、版本

┌(目次ウ)

七類ノ一 絵巻 原本・謄本

(朱方印)「文科大学史料編纂掛」

4

七ノ一

一 信貴山縁起 摸本 三卷

紙本、縦一尺三寸、画設色、詞アリ、原画 僧正覚猷ト伝フ、摸画者坂井紅児、明治卅六年、博物館蔵本ハ(信貴山朝護国孫子寺蔵)ニ就キ、数年ノ劳ヲ経テ謄写セルモノ、┌(1才)

二 一遍聖絵詞 摸本 十二卷

紙本、縦一尺三寸九分、画設色、詞アリ、原画者 僧円伊、博物館本ヲ以テ、明治卅七年中、坂井紅児ノ覆写セルモノ、一遍上人絵伝ニアリ、一ヲ四条道場本、二ヲ六条道場本、三ヲ藤沢本トス、此本ハ六条道場ニテ、京都歡喜光寺本ナリ、┌(1ウ)

三 絵師草子 摸本 一卷

紙本、縦一尺二寸二分、設色、有詞、原画者 藤原信実ト称ス、謄写年代ナシ、「雪居図書」印┌(2才)

四 西行記 摸本 四卷 西行物語絵巻ト改ム、

縦一尺九分、半設色、有詞、原画伝海田相保、奥二原本跋本《文》ヲ記シテ曰ク、右此四巻画  
図者、海田采女佐相保筆也、段々文字乃愚翁書写、明応龍集庚申上陽月中浣日、槐下桑門在判、次  
二、安政二年乙卯春三月下浣 尚玄斎狩野永秀所蔵┌(2ウ)

五 西行物語画巻 摸本 殘闕 一卷

縦一尺二寸二分、設色、無詞、無奥書、

┌(3才)

六 永〔文〕永加茂祭草子 摸本 一卷

元禄七年写、縦九寸、設色、原本二種アリ、龜山院絵合ノ時、経業卿奏進スルトコロノモノニテ、画ハ為信卿、詞書ハ定成朝臣ト云フアリ、元徳二年絵所預隆兼朝臣ノ画、入道内蔵権頭季邦詞書ノ写本アリ、此本ハ後写ノ転写ナルベシ、奥二、右之絵巻物、元禄七年閏五月下旬之比令写之、絵高階定信、詞書沙門旦生写之、軸心ハ永正十六年造宮殿島社ノ棟木ヲ用キタル由、函蓋二見ユ、

「(3ウ)」

七 鶴岡放生会職人尽歌合 摸本 一卷

縦八寸八分、設色、有歌詞、鎌倉鶴岡八幡宮放生会ノアリシ夜、月・恋ノ題ニテ、二十四種職人ヲ番ヘル歌合也、写本年代元禄頃ナルベシ、

「(4才)」

八 七十一番職人歌合 外題職人尽 四卷

縦九寸、設色、金泥入、有歌詞、土佐光信画本ニ多少新意ヲ加ヘタルモノ、函書曰ク、中川伊勢守重恭之父半左衛門尉政直之画讚也、書以所贈女市子、乃亡妻涼屋豊寧也、尚秘伝嫡男可拝納者也、元禄六稔六月戀遷中

「(4ウ)」

九 竹崎五郎絵詞 摸本拔写 一卷

縦一尺三寸七分、設色剥落写、金泥入、無詞、世ニ蒙古襲来絵巻ト称ス、

「(5才)」

一〇 春日《靈》験記 摸本缺本 八卷 卷一、二、三、六―《七八》九、十一、

縦一尺二寸九分、彩色白描交リ、有詞、高階隆兼筆ノ摸写、「花廼家文庫」印

「(5ウ)」

一一 やまひの草紙 抜抄 一卷

縦八寸八分、彩色、有詞、土佐光長筆ノ原本ニヨリテ、山名実「貫」義ノ写ストコロ、明治十六年ノコロ、モト大学編輯所ニテ新写セシメタルモノ、

「(6才)」

一二 やまひの草紙 摸本別本 一卷

縦九寸、彩色、有詞、奥二、画所預從四位下藤原光貞 寛政丙辰季冬初五

「(6ウ)」 5

一三 後土御門院勾当内侍絵本 首缺 摸本 一卷

縦八寸八分、胡粉彩色、有詞、足利末葉ノ製、此書一二花鳥風月ト称ス、

「(7才)」

一四 百鬼夜行図 摸本 「一卷…増加第二目錄七〇一頁」

縦一尺二寸六分、元囃土佐光起筆、奥二、宝曆十三年未十一月廿四日、夜五時ヨリ朝四時迄、此一卷写終、主菅原氏(洞齋)、尚玄齋狩野知信「洞齋」阮塘舎図書記「印、洞齋、名ハ伴、谷文晁女婿、

「(7ウ)」

一五 古画 摸本 一卷

縦一尺二寸七分、彩色、春日歌会・同射芸・田舎耕耘・海辺汲潮・武家屋内等ノ図ヲ輯メタルモノ、「松田本生」「引馬文庫」印

「(8才)」

一六 護国寺〔殿〕黒本尊縁起 「一卷…増加第二目錄二五三頁」

縦九寸三分、彩色、有詞、芝増上寺護国寺〔殿〕安置ノ阿弥陀如来ノ縁起ニシテ、徳川創業ニ関スル記事多シ、文政七年謄写本ヲ覆写セシモノニテ、奥二、安政六己未年初冬、文斎謹写印

「(8ウ)」

一七 江戸市井年中風俗図 原本 一卷

天保二年、橋本晴園筆、淡彩、天保頃市中往来ノ様ヲ写セルモノ、天保二卯年三月吉日かく、筆者ヲ晴園トセルハ、狩野友信氏ノ言ニ依ル、晴園、名ハ養邦、橋本雅邦ノ父、浜田藩士、

「(9才)」

一八 寛永三年九月六日二条城へ行幸ノ時武家行列図并御饗応等次第 一卷 安藤広近摸

縦八寸五分、彩色、嘉永六年三月、江戸尾信忠書写詞、安藤広近歌川豊広門人、弘化・嘉永頃

ノ人、題簽、武家行列図并御饗応等次第  
一九 日光祭礼図 二卷

縦八寸八分、彩色、無詞、

「(10才)

二〇 舞楽図 二卷

縦九寸五分、彩色、奥書无シ、「雙松文庫」印

「(10ウ)

二一 東大寺三倉宝器図 臨写 十卷

縦一尺一寸七分、彩色、図中押形ヲ取りテ補筆シタルモノアリ、「松田本生」印

「(11才)

二二 朝賀ノ図 一幅

横披幅製、縦二尺八寸、彩色、平安朝時代元朝拝賀ノ図、「正親町藏」「麗澤藏書」二黒印、安元三年四月廿七日皇宮炎上以後前ノ状ナルベシ、

「(11ウ)

二三 歴代宸影 摸本 一卷

縦八寸九分、彩色、鳥羽天皇ヨリ後村上天皇ニ至ル、後村上天皇ヲ今上トセルヲ以テ考スルニ、当時ノ画家ノ作ナルベシ、原本ハ狩野祐清相伝ノ古摸本ニ依リ、天皇「保」八年狩野養信（晴川院）ノ覆写モノニテ、博物館所蔵ナルヲ、明治卅四年坂井紅児ヲシテ更ニ覆写セシメシモノ、

「(12才)

二四 歴代撰関影 摸本 一卷

縦八寸九分、彩色、法性寺関白（忠通）ヨリ、後円光院関白（冬教）ニ至ル、現本ノ伝来ハ歴代《宸》影ニ同シ、

「(12ウ)

二五 大臣影 摸本 二卷

縦八寸八分、彩色、花山院左大臣家忠以下、今出川右大臣兼季ニ至ル、准大臣以上八十名ノ肖像、奥ニ、「〔一〕大臣影、豪信法印筆也、銘染愚〔筆脱〕了、不可出闕外耳、花押」次ニ、大臣八十人像蔵在陽明藤太閣之家焉、其像〔則脱力〕豪信所画、而其跋語未詳其人也、云画様字体一照原本掲写著色、装成二卷、蔵之於東武秘府 宝永六年十月十八日、右博物館原本ヨリ移写ス、時ニ明治卅四年、画者坂井紅児、

「(13才)

二六 近世名家肖像 摸本 一卷

縦八寸七分、彩色、原本（博物館蔵）ハ谷文晁ノ筆ニテ、当時ノ名家四十六人ノ肖像ナリ、明治卅四年坂井紅児ヲシテ謄写セシメタルモノ也、

「(13ウ)

二七 古太刀図

縦九寸三分、彩色胡粉盛上螺鈿入、奥ニ、安永八年亥十月十五日、禁中御厨子所之預高橋四位兼若狭守門弟源俊直花押

「(14才)

二八 福富草紙 下 蒔絵内箱・桐外函入 一卷

縦一尺一寸七分、古写、設色、現本ハ土佐光信ノ本ヲ謄写セシモノナラン、秋元子爵家ニ原本ヲ蔵スト云フ、此卷世間往上下二卷ノモノアレトモ、上卷ハ後人ノ仮作ニテ、下卷ノ方正シト云フ、

「(14ウ)

二九 元禄頃江戸風俗絵卷 残闕 函入 一卷

絹本、縦一尺五分、極彩色金泥交リ、看桜及河辺逍遥ノ二図ヲ収ム、

「(15才)

三〇 日光御祭礼行列絵卷 函入 二卷

縦一尺一寸四分、設色金泥交、奥ニ、清橋真信、真信所伝詳ナラス、

「(15ウ)

三一 曾我物語絵卷 謄本 二卷

縦一尺二寸八分、略彩、無詞、原本ハ住吉如慶ノ作ナリト云、

「(16才)

- 三一 慶長年間泉州堺開港ノ図 摸本 一幅  
彩色、六曲屏風ニ描キタルモノ、博物館所蔵ヲ石本秋園ノ写セルナリ、 1(16ウ)
- 三二 古外国船ノ図 一幅  
縦一尺四寸二分、彩色金泥交り、古代ノ和蘭船一隻、支那船二隻ノ図、描写年代詳ナラス、 1(17オ)
- 三三 琉球人来聘画卷 一卷  
縦九寸、淡彩、天保三年来聘ノ図ナリト云フ、描写年代不詳、 1(17ウ)
- 三四 亜米利加船始メテ渡来ノ図 摸本 一卷  
縦一尺三寸五分、彩色、原図ハ嘉永七年高川惟文(文筆)ノ描ク所ト云、或ハ其ノ原本カ、「林通幸」印 1(18オ)
- 三五 米国使節上陸ノ図 摸本 一卷  
彩色、明治卅四年、石本秋園ノ覆写、 1(18ウ)
- 三六 米国使節上陸ノ図 異本 摸本 一卷  
縦一尺三寸四分、彩色、当時浦賀ニ出役セシ彦根侯家士某カ、親シク某ヲシテ描カシメタルモノト云フ、原本文学博士横井時冬氏ノ蔵ニカ、ル、明治卅四年石本秋園ヲシテ覆写セシメンモノナリ、 1(19オ)
- 三七 露西亜船渡来ノ図 原本 一卷  
縦八寸四分、設色、奥云、嘉永六(丑)年七月十七日ノ魯西亜船渡来取扱日記附録図ノ林通幸蔵所(方印)「林氏ノ通幸」ノ同通嘉写画(方印)「時ノ元」 1(19ウ)
- 三八 近世賀茂祭ノ図 原在明画 一卷  
縦一尺、淡彩略画、天保前後ノ図也、原在明ハ在中ノ子ニシテ、弘化元年六十七ニテ没ス、父ノ風ヲ学ヒ、明人ノ筆致アリ、有職画家トシテ名アリ、其ノ子ヲ在照、々々ノ子ヲ在泉ト云フ、 1(20オ)
- 三九 関ヶ原合戦ノ図 菅原洞斎画 二卷  
縦九寸二分、彩色、城内四大老五奉行謀議ヨリ、大谷吉隆(継)敗死ノ辺ニ至ル、图中壮士ノ姓名ヲ註記セリ、(三)卷末、文化辛未之春後二月、見示旧化之画卷、不覚鼓舞、自知精神、不及前耳、菅洞斎(方印)□ 1(20ウ)
- 四〇 絵師草子 摸本 山名貫義筆 一卷  
縦一尺一分、彩色、無詞、明治十六年頃写ス所ナリ、 1(21オ)
- 四一 唐鳥画卷 二卷  
縦八寸九分、金泥交彩色、唐土・西洋ノ禽鳥ヲ写生セルモノ、 1(21ウ)
- 四二 淀川筋画卷 一卷  
縦一尺三分、淡彩、大坂八軒屋ヨリ伏見ニ至ル沿岸ノ図、「岡春堂」ノ落款アリ、 1(22オ)
- 四三 佐渡図金銀採製全図 摸本 一卷  
縦八寸五分、彩色、「埴原経徳蔵」、「東京博物館交付」印二蹟、 1(22ウ)
- 四四 金銀採製全図 摸本 二卷  
縦八寸八分、奥書ナシ、 1(23オ)
- 四五 解剖図 原本 一卷  
縦九寸一分、彩色、寛政元年十一月六日、上州無宿新五郎(年廿九)、刑死屍ヲ解剖セシ時、臨写セルモノ、奥二、松下道作正政花押 1(23ウ)

四六 婦人解体図 原本 一卷

縦九寸四分、彩色、寛政十二年閏四月、婦人刑死ノ屍体ヲ解剖セシ時ノ図、始ニ大矢允誠、漢文ノ序アリ、 1(24才)

四七 土蜘蛛草紙 摸本 一卷

縦一尺、彩色、無詞、原博物館蔵、源頼光蜘蛛退治ノ絵卷ニシテ、原本土佐光顕ノ筆ト云、奥ニ原本ノ跋ヲ移写ス、証(方印)□ノ頼光蜘蛛退治之絵一軸ノ右先祖左近將監長證真筆、尤無疑監者也、仍如件、ノ寛延二(己)三月十日 画所預土佐前左京進 常覺□《光芳之章》 1(24ウ)

四八 古画摸本 (抄写 着色 紙本 山名貫義筆) 十卷

一、一、角力古図 縦一尺四分、

一、伴大納言草子抄 一尺一分、

一、粉川寺縁起抄 一尺二寸八分、

一、天縁起抄 (実ハ長谷雄双紙ト云フペキモノナリ、一尺二寸六分、)

一、平治物語抄 一尺四寸、

一、住吉物語抄 一尺一寸七分、

一、土蜘蛛草紙抄 一尺二寸一分、

一、吉備大臣入唐草紙抄 西行物語抄

古画集物ノ内光弘筆(一図) 遊行縁起抄 一尺二寸二分、

一、釈迦縁起抄 地獄ノ絵抄 八寸八分、

一、後水尾天皇御自画讃巫女盲目 一尺六寸八分、 1(25ウ)

四九 神功皇后縁起 摸本 闕本 一卷

縦一尺三寸二分、淡彩、有詞、原本土佐光信筆ニシテ、誉田八幡宮所蔵、詞書足利義教ノ筆ニシテ、永享五年義教ヨリ寄贈ニカ、ルト云、而シテ原本三卷ノ内也、 1(26才)

五〇 酒顛童子絵詞 贍本 梶川周益写 四卷

享保八年写本、縦一尺二寸六分、極彩色金泥交リ、此ノ本、大江山絵詞・酒呑童子物語・酒顛童子追討記等ノ名アリ、原本ハ狩野元信ノ筆ニテ、今池田侯爵家ニアリ、日本三卷ヲ分割シテ四卷〔二脱〕セリト云フ、軸心内面ニ、享保八癸卯六月十五日、七拾二歳ニテ梶川周益写之、 1(26ウ)

五一 日蓮上人註画讃 摸本 五卷

縦一尺一寸三分、略彩略画、有詞、漢文、窪田統卷〔泰〕ノ筆ト云フ、文ハ僧日澄作、奥ニ原本ノ跋ヲ移記ス、于時天文五曆(丙申)初秋候、於若州遠敷郡後瀬山麓長源寺註画之訖、ノ画工洛陽絵所窪田藤右兵衛尉統泰ノ勸発師安立院権大僧都日政(春秋六八)、「文晁図書」ノ朱印 1(27才)

五二 鳥羽僧正戯画 摸本 一卷

文化十四年写、縦九寸二分、淡彩、奥ニ、建長五年五月跋語ヲ移記シ、次ニ、文化十四年初夏八日 摸、七艸菴、七艸庵、亀交山、本姓松本氏、名ハ大機、字真宰、江戸深川八幡祠内ニ住ス、法眼ニ叙セラル、文晁門、慶応二年十月九日歿、行年八十二、 1(27ウ)

五三 大織冠 函入 三卷

縦一尺一寸、帛装・牙軸、極彩金泥交、有詞、藤原鎌足ノ女ヲ唐太宗ノ后妃ニ進メ、彼国ヨリ 華原啓〔馨〕等重宝ヲ贈リ〔ル〕処、奥書无シ、元禄以前ノ筆写力、湯島靈雲寺什物ニ同種ノモノアリト云、 1(28才)



五四 後三年合戦絵詞 摸本 外題奥羽軍記図繪 三卷

縦一尺四寸三分、設色、詞アリ、奥二、右奥羽軍記一部、偶乗公務之暇、以揮秃筆、誰不謂厚顏耶、  
／左近衛権少將(花押影) 1(28ウ)

五五 清水寺縁起 摸本 三卷

縦一尺二寸六分、設色、詞アリ、原本土佐光信筆ヲ摸写セルモノヲ博物館ニ所蔵ス、明治卅五年坂井紅児ヲシテ再摸セシム、 1(29オ)

五六 道成寺絵詞 摸本 [員数脱]

縦八寸四分、彩色金泥交、詞アリ、日高川双紙ト云フ、道成寺縁起トハ異ナリ、奥二原本ノ鑑記移記ス、右道成寺之絵一卷者、土佐弾正忠広周真筆無疑候、仍加愚筆証焉已而、／正〔延〕宝五年仲春上旬／土佐将監光起(方印)□ 1(29ウ)

五七 竹崎五郎絵詞 外題蒙古襲来絵詞 摸本 二卷

縦一尺三寸一分、帛装・木軸、設色密、詞アリ、每卷奥二、永仁元年(歳次／癸巳)二月九日、下卷奥二、高倉在孝写(方印)□／同 孝文写(方印)□ 1(30オ)

五八 隨身庭乗図 摸本 一卷

縦一尺二寸六分、白描、藤原為家筆ト伝フ、文化十四年岡田顕忠力原本ヲ謄写セルモノナリ、卷末岡田氏跋アリ、長文ナレバ只落款ノミヲ記ス、文化十四年丁丑孟夏 岡田顕忠 1(30ウ)

五九 職人面歌合 摸本 二卷

縦八寸七分、設色金泥交、卷末二、子英書画(方印)□□ 1(31オ)

六〇 王子縁起 摸本 一卷

縦一尺三寸三分、白描、(マ、設色、)詞ナシ、武蔵王子権現縁起、首端紙背ノ題号ノ下ニ「尚信筆」、其ノ下ニ附箋シテ「狩野尚信の下画、同氏慶長三年四月、年四十四にて卒スト有、二百九十年跡の下画ニ候」、附箋ノ下ニ立斎藏(印影写)印アリ、一立斎広重旧蔵ナラン、1(31ウ)

六一 相撲図 摸本 一卷

縦一尺二寸三分、設色、奥ニ云ク、文久元年辛酉仲春写之、(七十三齡)竹山敬(方印)「有朋ノ敬印」 1(32オ)

六二 清明上河図 摸本 一卷

縦一尺一寸、設色、宋ノ画家張沢端ノ描ク所ニシテ、原本ハ元ノ秘府ニ帰シ、後官匠似本ヲ以テ之ニ易ヘ、真本ヲ出鬻セリト云フ、伝歴長沙東陽ノ跋ニアリ、又張雨ノ題詩等卷末ニ移写セリ、支那市廛及来往ヲ図セルモノ、 1(32ウ)

六三 文安御即位調度図 摸本 一卷

縦一尺一分、設色、奥二原本ノ跋ヲ移記ス、曰ク、文安元年正月令書写之了、藤原光忠花押 1(33オ)

六四 紫式部日記絵卷 摸本 原題栄花物語絵卷 二卷

文化十年、住吉広尚筆、縦七寸三分、着色・剥落写・金銀泥交、詞アリ、後京極撰政良経書、左京大夫信実画ト称ス、原本一卷蜂須賀侯爵家、一卷ハ松平子爵(伊予松山)家ニアリ、卷末ニ住吉内記ノ自記アリ、栄花物語 初花之卷 全／阿州家蔵 詞後京極良経公／絵右京大夫信実 朝臣／文化十(癸酉)年五月摸之、住吉内記、住吉内記広尚ハ広行ノ子、文化十一年歿、四十八、卷首ニ「住之江文庫」墨印 1(33ウ)

六五 伴大納言絵詞 摸本 住吉広通筆 三卷

縦一尺四分、略画著色金泥交、詞アリ、春日光長筆ト称スル古本ノ摸本、原本旧小浜藩主伯爵

〔酒井〕忠道氏藏、奥二（上下巻共）、伴大納言（三巻之内）主広道、下下〔巻〕奥二、文化八（辛未）歳七月十九日修復ス、巻首二「住吉絵所」朱・「住之江文庫」墨印、広道、土佐光吉ノ子、勅ヲ奉シテ住吉家ヲ中興シ、法眼ニ叙セラレ、剃髮シテ如慶ト号ス、寛文十年六月廿日、七十二ヲ以テ歿ス、

此巻及紫《式部日記ト共ニ、モト宗伯家ノ所蔵ナリシト云フ、

」(34才)

六六 承安五節図 摸本 一卷

縦一尺二寸、略描淡彩、詞アリ、藤原隆信筆ト伝フル古画ヲ摸写セルモノ、巻末二、「右屏風一双方也、他見無用」トアリ、其後二「」住吉内記」ト別筆ニテ書ス、「住之江文庫」墨印

」(34ウ)

六七 西行物語絵 摸本 四巻

縦一尺九分、彩色金泥交、詞アリ、末巻末ニ原本ノ跋ヲ移記ス、曰ク、右此四巻画漚図者、海田采女佐源相保所筆也、段々文字乃愚翁書写、明応龍集へ庚申上陽月中浣日、槐下桑門在判、

」(35才)

「堀田文庫」「裕齋」朱印

六八 一遍聖絵 摸本 藤沢道場本 巻一・二 二巻

縦一尺二寸六分、金泥交彩色、詞アリ、清浄光寺所蔵一遍聖絵、原本土佐光吉画、二世遊行詞書ト云フ、博物館本ニシテ、天保中狩野養信（晴川）・橋本晴園并ニ狩野家門人等ノ臨摸セシモノ、每図下ニ名ヲ注セリ、明治卅七年坂井紅児ヲシテ写サシメタルナリ、

」(35ウ)

六九 男衾三郎絵詞 摸本 一卷

縦一尺三寸二分、彩色、詞アリ、此ノ図一ニ大須磨三郎絵詞トモ云ヘリ、原本博物館蔵ノ謄本ハ、狩野養信（晴川院）及ヒ其門人等ノ謄写ニカ、ル、奥ニ云、おふすま三郎絵巻物一卷へ詞書為氏卿ノ画古土佐ノ松平安芸守殿所蔵、文化十三歳閏八月中旬摸畢、右本ニ依リ、明治卅七年六月坂井紅児ノ謄写スル所ナリ、

」(36才)

七〇 両界曼荼羅図 一卷

縦九寸四分、彩色、金剛界・胎藏界ノ曼荼羅ヲ図セルモノ、奥書ナシ、

」(36ウ)

七一 職人尽三十六歌仙絵 摸本 住吉広尚〔尚広ヲ符号ニヨリ正ス〕筆

縦九寸三分、彩色、奥ニ、法眼如慶筆ノ絵 広尚写（方印）口ノ庭田大納言雅純卿筆ノ書 広定写、住吉広尚、通称内記広行ノ子、土佐家棹尾ノ人タリ、文政十一年歿、四十八、

」(37才)

七十二 鳥羽僧正戯画 摸本 船越雲溟筆 二巻

縦一尺二寸三分ノ一尺三寸九分、墨画、一尺二寸三分ノ方ハ田中訥言、一尺三寸九分ノ方ハ谷文晁ノ摸本ヨリ、船越雲溟ノ摸写セルモノ、前者ニ左ノ跋ヲ移記ス、秘蔵々々絵本也、拾四枚之也、建長五年五月日 竹丸（花押影）巻首二「慶応丙寅春日、於京都僑舎雲溟摸、雲溟下野ノ人、春木南溟ノ門人ニシテ、文久中ノ人ト云、

」(37ウ)

七三 紅葉山御行列両山御行列図 一卷

縦八寸八分、彩色、徳川將軍紅葉山及寛永寺・増上寺へ参詣ノ図、「耻叟」ノ印

」(38才)

七四 稻荷祭図 摸本 一卷

縦一尺五寸七分、白描、奥書无シ、

」(38ウ)

七五 蝦夷国風俗図絵 附風俗志 摸本 二巻

縦九寸三分、彩色、右蝦夷国風〔俗脱〕図会風俗志者、於松前藩中而比良野氏所蔵、而植田仲慶子写之為蔵本、今般亦乞需植田氏而描写、傍以朱書者、新井白石先生之蝦夷志拔萃、而永為家蔵者也、天明第四冬卯仲冬加藤義繁謹誌 天明第四八甲辰ナリ、

」(39才)

七六 元治元年京師兵燹図 摸本 二卷

縦一尺、彩色、詞アリ、原本ハ前川五嶺ノ筆ニシテ、京都尊攘堂ノ什ナリシカ、今京都帝国大  
学図書館ニ収貯セラレアリ、現本上巻首端ニ、「浅田歆斎蔵」トアリ、 1(39ウ)

七七 伴大納言絵詞 摸本 田中訥言筆 二重箱入 三卷

縦一尺一寸六分、金泥交り剥落彩色写、詞アリ、

原本春日日光長筆、伯爵酒井忠道氏蔵、本館所蔵摸本中ノ白眉ナルベシ、每巻奥ニ、奉納寄付七  
種之内、へ伴大納言物語草子、へ共三巻ノ文化三年丙寅正月 法橋訥言、又每巻首端ニ「田癡之印」  
「虎頭」ノ朱印、並ニ訥言ノ押款ナリ、 1(40オ)

七八 文永賀茂祭草子 摸本 一卷

縦一尺二寸二分、著色、詞アリ、

1(40ウ)

七九 かるた遊の図 山口素絢画 手柄岡持賛 一卷

縦九寸一分、著色、末ニ、文化六とせといふとしゃよひの三つ、手からのをか持求に任せて識す、時  
によはひな、そまり五つ(方印)「岡」「持」、山口素絢ハ京都ノ人、《画ヲ》円山応挙学ヒテ、同門  
十哲ノ一タリ、文政元年十月歿ス、岡持、平沢平格ト称ス、狂歌狂文ヲ以テ名アリ、又明滅堂  
喜三二ノ名ヲ以テ黄表紙類ヲ著ス、文化十年五月廿日、七十九才ニテ歿ス、 1(41オ)

八〇 菅原寺縁起 摸本 一卷

縦一尺二寸三分、略彩、詞ナシ、

1(41ウ)

八一 髪結方并着用秘伝之巻 旧題髪結着用 女官 一卷

縦七寸九分、彩色、小笠原流女房結髪并ニ著用衣式ヲ図ス、奥ニ、右此巻物者、於小笠原御家雖  
為御秘事、依執心深不殘令伝受、努々鹿相他見口外之義有間鋪者也、ノ井村源左衛門敏慎へ花押  
ノ印ノ文政四年辛巳九月ノ黒井於土美殿 1(42オ) 11

八二 重摸鳥羽僧正真蹟禽獸図巻 周覽摸 一卷

縦九寸二分、墨画、奥ニ、周覽摸(方印)「武ノ昭」、天保十一年庚子秋月据栗本昌蔵手写、本重  
摸併及源書記序文、倭宋道人識、源書記ハ屋代弘賢ヲ指ス、又倭宋道人ハ小島宝素、「小島氏図  
書記」印、小島宝素ハ医師ニシテ好書家、其ノ名経籍訪古志ニ見ユ、 1(42ウ)

八三 武家装束着用図 摸本 一卷

縦九寸、彩色、巻末ニ、寛政六年十一月七日、同十年戊午十二月八日再写、ノ松岡平次郎辰方(花  
押影)、次ニ、天保十(己亥)歳二月廿三日燈下写了、小田切藤原(花押影)、「田直画図記」印 1(43オ)

八四 年中行事絵 摸本 二卷

縦一尺四寸、略彩、詞ナシ、  
土佐光長ト称スル年中行事、現存二十余巻(原六十巻)中ノ二巻、御燈・内宴・朝観・幸行ノ  
部、 1(43ウ)

八五 蝦蟇物語 残闕 摸本 一卷

縦一尺二寸二分、彩色、奥書無し、 1(44オ)

八六 平治物語 摸本 三卷

縦一尺四寸、彩色、詞アリ、住吉慶恩筆、平治物語絵巻、粗写ナリ、每巻奥ニ筆者半隠ノ記ア  
リ、第三巻ナルハ、

天保六乙未年十一月十五日、以住吉家蔵明曆写本うつしをはりぬ、但源本は言葉書は絵の末にひと  
つにしてありしなり、しかるをこたひ他の絵巻物のためしをもて所々にくはりぬ、ノ賢木園主人広前

- (印文)「半意」 「花廼家文庫」印 1(44ウ)
- 八七 平治物語繪卷 摸本 一卷  
縦一尺三寸七分、彩色、信西獄門ノ段、原本筆者前ニ合シ、奥ニ云ク、平治物語信西之段一卷ノ右者源本勢州山田福島大夫所持、ノ天保五(午)年仲春ノ住吉絵所(定実・定氏)摸之、(方印)「半意」 「花廼家文庫」印 1(45才)
- 八八 伴大納言物語繪卷 摸本 二卷  
縦一尺三寸六分、白描、詞無し、天保頃筆写ナルベシ、「花廼家文庫」印 1(45ウ)
- 八九 狂僧草紙 摸本 一卷  
縦八寸九分、縦《彩》色、詞アリ、或ル僧色慾ノ為ニ狐ノ誑惑スル所トナルコトヲ説ケリ、一ニ狐草紙ト云フ、末段ニ「土佐光信朝臣筆」ノ文字アリ、 1(46才)
- 九〇 福富草紙 下 摸本 一卷  
縦一尺二寸二分、彩色、奥書無し、 1(46ウ)
- 九一 酒飯論 摸本 一卷  
縦九寸一分、白描、詞アリ、一ニ三論繪、又酒食論、又下戸上戸繪詞ト云フ、土佐光元ノ原画ト云フ、奥ニ、寛政十年八月摸写、右少史行厚、「行厚藏書」印 1(47才)
- 九二 十界図拔写 一卷  
縦九寸、彩色、末ニ、天保六乙未年十一月廿五日写之、鈴木虎吉、次ニ、右之一巻者、後藤氏正和依恩賜摸之、 1(47ウ)
- 九三 十二類繪詞 摸本 一卷  
縦九寸六分、彩色、詞アリ、原本ハ後崇光院及尊道親王詞書、土佐光弘画ト云フ、(一ニ《土》佐行広、又土佐広周、)十二類合戦画トモ云フ、古川躬行云フ、十二類ヲ北朝ニ、狸ヲ南朝王孫<sup>12</sup>高野玉川宮ニ擬シ、南朝ヲ抑ヘテ北朝ヲ揚クルノ意ヲ諷シタリト云、現本土佐光清画、松花堂書ノ本ヲ覆写セルモノニテ、奥ニ、文政六五月十一日 藤原資重花押 「花廼」家脱「文庫」ノ印 1(48才)
- 九四 鬪鶏図 摸本 函入 一卷  
縦一尺四寸五分、金銀泥交彩色、巻尾「僧正覺猷(花押)」アレトモ、仮托ナルベシト云ヘリ、 1(48ウ)
- 九五 文永賀茂祭繪詞 摸本 附賀茂祭競馬装束図 函入 二卷  
縦一尺二分、白描、詞アリ、 1(49才)
- 九六 紀伊熊野浦魚品図 一卷  
縦九寸一分、彩色、奥ニ、寛政八年丙辰季冬、応石亭翁需撰之、東溪ノ同九年丁巳春三月写、淀華井「鈴木半兵衛一保藏」印 1(49ウ)
- 九七 犬追物図 摸本 一卷  
縦一尺二寸二分、彩色、正徳二年新井君美、明徳(和)五年伊勢貞丈ノ跋ヲ移記シ、最末ニ、天保四年癸巳十二月二日摸写了、(方印)「伊勢氏ノ伝家書ノ抄本記」「淤焉ノ信辨」 1(50才)
- 九八 百馬之図 一卷  
縦八寸二分、彩色、奥書無し、 1(50ウ)
- 九九 礼服用図 一卷  
縦九寸二分、彩色、山田以文・松岡辰方・大谷小仲太等伝写許可文アリ、現本最末ニ、天保十一年庚子歳二月晦日燈下写畢、小田切直(花押影) 「田直画図記」印 1(51才)

一〇〇 礼服之図 一卷

縦一尺一寸二分、彩色、山田以文ノ跋文ヲ移記セリ、「片岡文庫」印 1(51ウ)

一〇一 東帯衣冠五位東帶同衣冠御隨身直衣小直衣狩衣直垂大紋布衣素襖之図 一卷

縦一尺一寸二分、彩色、伊勢貞丈朱書、大久保忠寄青書、松岡辰方等ノ記ヲ移記ス、「片岡文庫」印 1(52オ)

一〇二 女官装束着用次第図 一卷

縦一尺一寸二分、彩色、「片岡文庫」印 1(52ウ)

一〇三 荒見川祓幄等図 一卷

縦八寸七分、白描、奥ニ、文政乙酉冬十一月十三日写、(方印)「保ノ敬」「公ノ舟」 1(53オ)

一〇四 朝鮮人来聘之節所用器具図 一卷

縦九寸五分、彩色、傘・帽・輿・旗等ヲ図シ、末ニ婦人及船舶ヲ描ケリ、 1(53ウ)

一〇五 奇石之図 一卷

縦八寸六分、彩色、 1(54オ)

一〇六 地祭棟上図 一卷

縦五寸九分、彩色、「高天原」「十種神宝」ノ印、 1(54ウ)

一〇七 御厨子之図 一卷

縦五寸九分、淡彩、奥ニ《水》島ト也、元成伝授記アリ、棟上図ト同装、 1(55オ)

一〇八 太刀礼式図 一卷

縦五寸五分、淡彩、奥ニ水島ト也、伝授記アリ、棟上図ト同装、 1(55ウ)

一〇九 饗物礼式図 二卷

縦五寸九分、淡彩、着帯ヨリ戦勝頸実檢等ノ付合ニ於ケル肴組様ノモノニ至ル迄、何レモ小笠原流ノ法式ヲ図セリ、奥ニ、右此一巻者、雖為秘事、依御執心深懇記進之畢、努々不可有外見者也、水島ト也、《延宝六へ戌ノ午ノ曆ノ九月十六日》、(方印)「元成」「水ノ島」、上棟以下四種五卷、同一人ノ旧蔵ナルベシ、 1(56オ)

一一〇 古器図 三卷

第一卷、一尺二寸六分、倚懸・女舞装束等、彩色、第二卷、一尺二寸二分、久安二年所造机等、白描、第三卷、八寸九分、幣囊・書囊等、彩色相交ル、「松田本生」「引馬文庫」ノ印アリ、 1(56ウ)

一一一 祖師図 三卷

縦一尺五寸五分、内一尺三寸、墨画彩色混合、雪舟・元信・守信・常信等筆ノ釈迦・観音・文殊・地藏・維摩及ヒ臨濟諸祖師写ノ像ヲ摸写セルモノ、其ノ年代筆者ノ名等ヲ記ルセルモアリ、明兆ノ道隱、無準、破庵ノ像、元信ノ道元等ハ設色密ナリ、 1(57オ)

一二二 安祿山合戦絵詞 三卷

縦一尺八分、極彩色金泥交、詞アリ、表装萌黄金欄、《見》返金紙、詞用残〔成〕生鶏卵紙、ノ描金模様、一ニ玄宗皇帝絵、又長恨歌絵ト云フ、奥書无シ、元禄頃ノ製ナラシ、 1(57ウ)

一二三 職人尽歌合 摸本三卷

縦九寸、彩色、奥書无シ、 1(58オ)

一二四 融通念仏縁起 摸本 清凉寺本 函入 三卷

縦一尺一寸七分、表装紺金欄、見返シ金紙、彩色金泥入、「東叡山護國院藏書印」ノ

印

一一五 正倉院宝物等図 一卷

1 (58ウ)

縦九寸三分、彩色、

1 (59才)

一一六 官方雛形

縦一尺一寸五分、墨画、奥二、右一卷若州工匠真柄氏以伝図之、元禄十二己卯年二月吉日ノ藤原姓大谷甲斐正矩(方印)「藤原ノ大尚」

1 (59ウ)

一一七 宮室図 四卷各上下・附録一卷 函入 九卷

縦一尺三寸八分、白描、所々半彩モアリ、古絵巻類ニ散見スル宮城官衙写ノ殿舎門垣其他建物ノ図ヲ拔写スルモノ、凡一百、「朝田家蔵書」ノ印、朝田躬絃旧蔵ニカ、ル、

1 (60才)

一一八 東大寺正倉院御宝物之図 一卷

縦八寸八分、正倉院御物中ノ逸品ヲ図セリ、首卷《卷首》、東大寺正倉院御宝物百五十五櫃、其中大概以図記之、トアリ、「大岡文庫」ノ印、及古銅印一蹟、

1 (60ウ)

一一九 大嘗会調度図 函入 五卷

縦一尺二寸三分、第五卷縦九寸一分、白描、所々ニ半彩、貞享四年大嘗会再興ノ時所用調度ノ図、卷四奥二、右文政大嘗会本文御屏風之写、嘉永第三歳次庚戌四月写得畢、野釈水月庵無相

1 (61才)

一二〇 集古図 摸本 廿六卷 但一卷ハ目錄也、

縦八寸九分、白描、半彩モアリ、藤井貞幹所蔵古物ノ図、

1 (61ウ)

一二一 鱗譜 五卷

縦七寸五分、彩色密画、本邦河海所産魚類ヲ精巧ニ写生セルモノ、

1 (62才)

一二二 後三年軍記 摸本 闕本卷二・三 四卷

縦一尺五寸二分 卷六、一尺四寸三分、彩色、詞アリ、飛驒守惟久画ト称スルモノ、摸本也、

1 (62ウ)

一五三 美人画 原本 一幅

掛幅、紙本、一尺二寸八分、画面縦二尺八寸三分、横一尺壹寸、設色、懷月堂風絵ナリ、無落款、元禄美人立姿、

1 (63才)

一五四 美人画 原本 一幅

掛幅、紙本、画面縦二尺八寸三分、横一尺六分、設色、元禄頃美人、画風前ニ合シ、無落款、

1 (63ウ)

一三三 堀川夜討絵巻 摸本 二卷

縦一尺九分、馬込光意筆、奥二、詞西山義公ノ画牧心齋ノ右堀川夜討式軸者、松平相模守様御珍藏之由写有之、文化十一年戊正月狩野洞英殿ヨリ恩借而写之、馬込光意(丸印)「光意」(64才)

一三二 土蜘蛛草紙 摸本 一卷

縦九寸、白描、最末二、仮字文の奥書あれともなかけれハ略す、学士前原善一(花押影)

1 (64ウ)

一三八 御即位図 摸本 一卷

縦一尺八寸六分、彩色、

1 (65才)

一三四 南都祭礼図 一卷

縦一尺二寸八分、設色、略画、春日社祭礼行列ノ図ナリ、奥二、右書付寛延四(辛未)八月、於大和国南都借り常祥頼写取、永宝努々不有見失者也、源忠諸、右原文ノマ、ナリ、

1 (65ウ)

一三五 常陸国筑波山縁起絵詞

原本 函入 二卷

縦一尺二寸五分、設色密画、詞并書ハ安井門主前大僧正性演（安井門跡再奥者、西園寺左大臣公益ノ息）、絵ハ住吉派戸田広重、護持院大僧正隆光ノ囑ニヨレルモノナリ、卷末ニ、右筑波山縁起両卷者、忒于「隆光大僧正需、不顧綴文之拙、」粗記事実且馳禿毫畢、ノ宝永三丙戌年抄春之日、ノ東大寺別当安井門主前大僧正（花押影）、ノ安井門主道恕大僧正、後法界心院ト号シ、享保十八年示寂、  
┌(66才)

一三六 常陸国筑波山縁起文 函入 一卷

縦一尺二寸二分、金界行一六字、縁起絵詞ヲ漢文ニ訳セルモノ、奥ニ、筑波山来歴、知足院顛末、拮据往昔典、「故折裏現前事蹟、分作兩卷、備後鑑耳、ノ時、宝永元龍集申九月十有八日、ノ当山中興僧録前大僧正法印大和尚位隆光誌焉、  
┌(66ウ)

一三七 高野大師行状図画 函入 十卷

縦九寸七分、設色、現本筆者、第一卷末背紙ニ志シテ曰ク、志州塔〔答〕志郡伊雜神戸迫住玄周、ノ天文九年（庚ノ子）二月一日ニ繪字一筆書之畢、ノ每卷末ニ、丹生山大師堂 常住物ノ当堂中興開山之本願大和尚位良心、後代為重宝是ヲ求置畢、ノ于時慶長九年（甲ノ辰）十一月廿一日良心（敬ノ白）、十卷首見返シニ、右十軸破破久矣、宝曆十年之春、富山与三兵衛者有志改帙、┌(67才)

一四〇 保延二年十二月内大臣殿廂大饗差図 一卷

縦一尺五寸五分、設色、  
┌(67ウ)

一四一 土佐日記絵卷 一卷

縦一尺二寸九分、略彩、奥ニ、文久二年六月写之、  
┌(68才)

一四二 五山刹之図 古写 函入 二卷

縦一尺一寸二分、墨画、支那明朝五山十刹ノ殿堂ノ莊嚴仏具法器僧侶配置座席等ヲ図セルモノ、伝天龍寺ノ僧策彦入明ノトキ筆スル所ト、函蓋ニ朱漆ニテ「五山十刹之図 二卷」 ┌(68ウ) 15

一四三 北齋翁大画之記（絵卷） 一卷

縦一尺四分、彩色、詞アリ、文化十四年十月五日、北齋名古屋客遊ノ時日記、西本願寺別院ニ於て疊百二十枚大ノ達磨ヲ図セルトキ記事也、明治廿六年八月、飯島虚心（半十郎）、画工曉雲ヲシテ謄写セシメシモノナリ、  
┌(69才)

一五〇 長谷雄卿双紙 摸本 一卷

縦一尺二寸、彩色、剥落写、詞、奥ニ旧本ノ跋ヲ移写シテ曰ク、紀長谷雄卿絵卷物者、御数奇〔寄〕屋御道具也、（絵飛驒守惟久筆、ノ詞書〔筆〕者不知）広行鑑定、現本跋ヲ移写セルトキ云フ、天保四年歳在癸巳夏四月、以菅原蔵本写、（方印）「東山子」「将ノ順」、「豊島文庫」ノ記アリ、  
┌(69ウ)

一四六 文政年度管絃御聴聞図 一卷

縦九寸三分、彩色、詞アリ、文政三年三月二日、徳川幕府ニテ張行ノ管絃会ノ図、  
┌(70才)

一四七 元興寺古伽藍図 一卷

縦一尺二寸三分、彩色、剥落写、  
┌(70ウ)

一四九 嫺竹物語絵卷 摸本 一卷

縦一尺三寸二分、彩色、詞アリ、一ニ鳴門中将物語トモ云フ、奥ニ旧本ノ跋アリ、奈流戸少将絵所十二段、ノ慶安式歳霜月日、主土佐内記（写之）、次ニ、維時寛政十一己未十二月日、ノ静斎（臣）潔巳写、「岩波文庫」印  
┌(71才)

一五一 当麻曼茶羅縁起 摸本 函入 二卷

縦一尺六寸二分、彩色、剥落写、金泥入、詞アリ（影写）、奥ニ原本跋ヲ写シテ云、右曼茶羅之

縁起上下巻、土佐古將監真跡、決然而無涉于猶豫者也、狩野永真法眼証之、(方印)「法／眼」、  
謄写佳ニシテ藏品中ノ優ナルモノ、 1(71ウ)

一五二 装束図式 摸本 一卷

縦九寸、着色、天子ヨリ五六位ニ至ル迄ノ装束ヲ列挙シタル図、明治廿七年八月橋本秀敦ノ写  
ス所ナリ、 1(72オ)

一五八 《天保八年ノ九月二日》御大礼堂上方御行粧 一卷

縦九寸、着色、天保八年徳川家慶將軍宣下ニ付、公卿開東下向ノ折ノ行列図、奥ニ、天保十四  
歳癸卯閏九月晦、次〔以〕赤穂殿人宮地衛士主稿本摸謄校合畢、丹頂鶴(花押影)、「守住貫魚藏  
印」 1(72ウ)

一五六 徳川家船画卷 一卷

縦八寸九分、着色、旧幕府船手所管船舶ノ図、 1(73オ)

一五九 日光御造管下絵図 原本 一卷

縦八寸四分、着色、 1(73ウ)

一六〇 三十六人草本 摸本 二巻

縦一尺三寸、白描、上巻奥ニ、天保七へ丙ノ申年八月、平三武実摸、福山絵所村片氏蔵、下巻  
ノ奥ニ、天保八へ丁ノ酉年三月、源武実写、 1(74オ)

(白紙) 1(74ウ～89ウ)

## 絵巻 板本

七ノ一

一二三 寛永行幸記 一卷

寛永版本、無彩、詞アリ、文字ハ活字ナルベシト、 1(90オ)

一二四 高野大師行状図画 版本 函入 十巻

慶長元和間所刊、縦一尺七分、略彩、詞書アリ、毎巻ノ奥ニ左ノ記アリ、奉寄進行状記十巻、為  
後生善処、寛永元甲子三月廿一日、遠藤本西(花押影)印、又函蓋表ニ右ノ記アリ、播州明石郡  
和坂村坂上寺ノ弘法大師行状記十巻寄進之、寛永元稔三月廿一日遠藤本斎、又蓋裏面ニ、南  
無大師遍照金剛 1(90ウ)

一二五 隅田川兩岸一覽 版本 二巻

天明元年版、鶴岡蘆水筆、縦八寸五分、彩色、上巻、天明元辛丑夏、東江源鱗ノ題書アリ、又  
下巻ニ同人ノ跋文アリ、 1(91オ)

一二六 隅田川兩岸一覽 版本上 一卷

前掲下同物ニシテ上巻ノミナリ、 1(91ウ)

一二七 集古十種後編古画部 版本 二巻

縦一尺四寸一分、彩色、有栖川宮三条公等ノ題字(明治十七年)アリテ四十五図ヲ収メタリ、  
1(92オ)

一二八 三十六歌仙絵 版本 二巻

縦一尺一寸八分、彩色、佐竹侯爵家蔵本ニ依リ、其ノ旧臣土屋秀禾ノ摸写シテ板行セシモノ、  
1(92ウ)

一二九 融通念仏縁起 桑名家刻本 二巻

縦一尺二寸、墨画、有詞、「花廼家文庫」印 1(93オ)



- 一三〇 朝鮮信使渡海船之図 版本 一卷  
縦八寸五分、墨画、文化八年五月使節来朝ノ時ノ乗船図ニ通ナルヲ、今合綴シテ一卷ト為ス、各末ニ、文化八辛未年夏五月へ板元対州大町みきや喜左工門ノ売捌所江戸神田松下町代地北沢や貞助）  
「(93ウ)
- 一三一 調布玉川絵図 板本 一卷  
縦一尺、長谷川雪堤ノ筆、墨画  
「(94オ)
- 一四二 六波羅行幸絵巻 版本 一卷  
縦七寸六分、コロタイプ写真板、画詞トモ四段、原本伯爵松平直亮氏本ヲ、審美書院ニテ発行セシモノ、  
「(94ウ)
- 一四四 雪舟筆山水画卷 板本 一卷  
縦一尺二寸四分、コロタイプ写真板、毛利公爵家蔵ヲ審美書院ニテ板行セシモノ、  
「(95オ)
- 一五五 鳥獸戯画巻 板本 一卷  
縦九寸八分、コロタイプ写真版、高山寺什鳥羽僧正筆ト伝フルモノ、審美書院刊行、  
「(95ウ)
- (白紙)  
「(96オ～99ウ)

## 下冊

(表紙題箋外題)「絵画本目錄稿下」

「(表紙)

貴重七類ノ二、三

絵画本目錄稿 帖子冊子 下

「(扉才)

(朱方印)「史料編纂所図書之印」、(青スタンプ)「15469」

「(扉ウ)

(白紙)

「(遊紙才ウ)

## 七類ノ二 絵画 冊子・帖子 写本之部

(朱方印)「文科大学史料編纂掛」

イ (七ノ二ノ)

一 徳川家年中行事図 (井関某筆/狩野友信補) 原本 一帖

絹本、縦一尺九寸三分、横一尺三寸八分、設色、密画、柳宮年中行事十四図ヲ収ム、明治十六七年頃、時ノ大学総長加藤弘之之氏ガ幕末茶道坊主タリシ井関某ヲシテ俵《作》ラシメタルモノナリ、其《内》六七図ハ白描タリシヲ以テ、卅二年狩野友信シテ補筆セシメルモノナリ、

「(1才)

二 職人尽歌合 摸本 三冊

縦九寸九分、横七寸、七十一番職人尽シニテ、新井君美ノ藏本ヲ謄写セルモノ、

「(1ウ)

三 車図 摸本 一帖

縦一尺二寸、横九寸、彩色、鳳輦及九条・西園寺、又葵祭等ノ車ノ図、末ニ文化二年ノ年記アリ、

「(2才) 18

四 八葉車図 摸本 一帖

半彩、八葉車各局部ヲ解キ放チテ一々図ヲ挙ケタリ、「紫香藏」印

「(2ウ)

五 女房装束図 摸本 一帖

彩画、博物館本ヲ山名貫ノ謄写セルモノ、「陽春廬記」印

「(3才)

六 大内裡図 内藤広前自筆 桐函入、九鋪

現本ハ文部省ヨリ大学ニ交付セシモノナリ、「東京博物館」印

「(3ウ)

七 隣春画集 原本 十帖

縦(大七寸七分/小七寸三分)、横五寸、淡彩、福島隣春ノ小画数百ヲ収ム、

「(4才)

八 梅園草木花譜 毛利元寿写生 原本 一帖

縦八寸九分、横六寸四分、彩色、巻首林燿(号復齋、大学頭ノトアル、述齋ノ二子)ノ題書アリ、毛利元寿、梅園卜号シ、又写真齋トモイヘリ、農書花譜十八卷アリ、即チ其ノ原稿ノ一部カ、

「(4ウ)

九 雪堤画稿 一冊

縦九寸二分、横六寸五分、墨画、長谷川雪堤ノ伊豆相模名勝二十面ヲ図シタル手稿ナリ、

「(5才)

一〇 武清写生画稿 一冊

縦七寸八分、横五寸三分、冊紙二八張、彩色、喜多武清(可菴)ノ昆蟲ノ写生稿ナリ、(5ウ)

一一 一遍聖絵詞 摸本 (十二卷) 六帖

縦一尺二寸三分、横七寸、淡彩、詞アリ、最末ニ、維時安政第五年(戊午)十一月晦加修補了、

東安樂寺執行梅之房教覚

「(6才)

一二 東国地図 一帖

朝鮮人手写、縦一尺四寸五分、横一尺三分、彩色、朝鮮八道図、総図スヘテ九枚ヲ収ム、「(9ウ)

一三 旧前田家庭園図 一鋪

開展縦六尺二寸、横七尺五寸、彩色、維新前ノ前田家庭園勝景、前田家蔵本ノ写、「(7才)

一四 善光寺如来記 古写本 六冊

帖子、縦八寸一分、横一尺三分、極彩色金泥交、詞アリ、表紙紺地ニ草花ヲ金泥ニテ描ケリ、  
「(7ウ)

一五 諸仏諸天尊像 二重箱入 二帖

縦七寸二分、横三寸八分、表裏両面、金泥入極彩密画、図(一帖五十面/一帖二十五面)、真言宗關係アル仏菩薩諸天部合七十五本図像、五十面ノ方ノ奥ニ、法身三密遍沙界、默眼加持利応機、本(推言)《カ/誓》深信如水月、離疑慮宜感神輝、享保八歳次癸卯三月十五日開眼畢、智積院僧正 智興(花押影)、題簽并図中ノ文字ハ総ヘテ智興ノ筆ナリ、智興字法音、智積院第十四世能化トシテ、享保三年入院、同十三年六月十八日寂ス、  
「(8才)

一六 茶席建物起シ絵図 函入 八十枚

諸流茶席ノ起シ絵図ヲ西ノ内ニ張附ケタルモノナリ、図様精緻ニシテ茶室ノ大体ヲ知ルニ足ルヘキモノ、函蓋表面ニ「千家其外建絵図」ト題セルハ、孤蓬菴川上太白ノ筆ト云フ、「(8ウ)

三九 清百花鳥譜 摸本 六冊

伝椿椿山筆、縦一尺八寸、横七寸六分、匡郭(八寸四分/五寸六分)、設色、各面、每図ノ前又ハ後ニ張廷玉又ハ鄂爾泰ノ題諸一首アリ、原図ハ清朝人ノ筆ニナリシヲ、本邦人ノ臨摸ニカ、  
「(9才)

19

四〇 笠亭仙果(二世柳亭)種彦 画稿 一冊 柳亭種彦随筆

縦八寸横五寸七分、用紙十四張、墨画、附箋ニ、安政四年季春廿六日写畢、卷首表紙「古風急之控 山之宿町巴文」、卷末ニ「嘉永三戊年三月」トアリ、  
「(9ウ)

四六 福富草子 摸本 二帖

縦一尺二寸五分、横八寸、彩色、「阿波国文庫」印  
「(10才)

四七 伴大納言絵詞 摸本 一帖

縦一尺三寸二分、横九寸、略彩ニシテ拔書、「阿波国文庫」印  
「(10才)

四八 帝陵図 摸本 二帖

縦八寸九分、横一尺二寸八分、設色、大和国所在ノ山陵図、奈良県庁本ヲ願写セルモノ、  
「(11才)

四九 御陵図 摸本 一帖

縦一尺一寸六分、横八寸、設色、大和国所在山陵ノ図、奈良県蔵本ノ写、慶応元丑年武陵齋桃里ノ製レルモノ、  
「(11ウ)

五〇 山陵御改之図 摸本 一帖

縦一尺一寸六分、横八寸、設色、大和国所在山陵ノ図、奈良県蔵本ノ覆写、  
「(12才)

八二 正安二年興福寺供養指図 一鋪

開展縦二尺七寸、横五尺三寸、墨描匳図、興福寺堂門ノ位置、出役僧俗ノ席等ヲ描シタルモノ、  
「(12ウ)

八三 銘物切類品 一冊

文政三年写、縦六寸五分、横四寸四分、銘物裂ノ模様色分ヲ集写セルモノニテ、緞子・金襴・間道・雜載ノ四二分類セリ、奥二、時晡文 一(13才)

一七 山水図 葛飾北斎画 一幀

縦一尺六分、北斎真跡、淡彩、 一(13ウ)

三一 王子権現縁起絵詞 摸本 二冊

縦八寸九分、横六寸三分、半彩、詞アリ、將軍ノ命ヲ蒙、林道春ノ作レルモノニテ、北豊島郡若一王子社ノ縁起ナリ、増戸氏旧蔵、 一(14才)

三六 能具図式 一冊

縦九寸七分、横六寸八分、着色、金泥交、百年以前ノ製ナリト云フ、 一(14ウ)

五六 草雲模写画帖 一帖

縦一尺二寸、横八寸、淡彩、狩野探幽力縮写セル文微明筆花鳥図ヲ覆写セルモノ、十二図アリ、奥二、探幽斎縮図中通計十二頁応泉石盟見索 草雲田芸(方印)□□、 一(15才)

五七 本郷沽券絵図 六鋪

折図、彩色、宝永七年作ル所ノ本郷二丁目至六丁目、及寛保四年一丁目、金助町、元町(一三三・三四丁目、湯島三丁目至六丁目、同朋町、東竹町等ノ地図ナリ、每鋪左ノ文アリ、右之通立合吟味仕間数・坪数沽券附ケ、右絵図之通り少も相違無御座候、為後日銘々印形仕らせ指上申候、此外拝領屋敷・拝借屋敷・預リ屋敷無御座候、以上、宝永七年寅二月 一(15ウ)

五八 濬川帖 朝鮮人筆 一帖

絹本、縦一尺二寸一分、横八寸、着色、京城ナル濬川ノ填塞セルヲ以テ、大ニ土工ヲ起シ、之ヲ浚渫修治セル事ヲ録シ、三図ヲ挿ミタリ、 一(16才)  
一(16ウ)

## 絵画 板本 帖子・冊子

口 七ノ二

〔二七〕 三十六歌仙 本阿弥光悦書 土佐光茂図 一冊

縦一尺一寸、横八寸五分、大納言公任所撰三十六人ノ画像、 一(17才)

一八 月次のおそひ 菱川師宣画 一冊

元禄四年版(鱗形屋)、縦八寸九分、横六寸、墨刷、江戸市井年中行事絵ニシテ、記事・俳句ヲ題セリ、奥二、元禄四年未五月吉日「下二筆者発行者ヲ署セリ、 一(17ウ)

一九 百人女郎品定 西川祐信画 二冊

享保八年版、縦八寸八分、横五寸四分、女子身分職業百種図ニ解説ヲ附シタリ、序文八文字屋自笑、奥二、享保八年卯《正》月吉日 八文字屋八左工門 一(18才)

三八 〈小栗判官ノ大岸宮内〉高名以呂波軍記 〈モト冊子、ノ今卷子〉 一卷

享保年間劇場絵番附、縦六寸四分、忠臣蔵ノ絵番付ニテ浅野氏ヲ小栗判官、吉良氏ヲ横山郡司等ニ擬シテ演セルモノ、 一(18ウ)

二〇 美人尽 西川祐信画 一帖

縦八寸六分、横五寸八分、無彩、美人画二十ヲ収ム、 一(19才)

二一 〈彩ノ画〉職人部類 橘珉江画 二冊

天明四年版、縦九寸、横六寸一分、彩色、徳川中葉頃ノ風俗ヲ知ルニ足ル、明和七年邏沙窟龜求、天明四年四方赤良ノ序、朱楽菅江ノ跋アリ、 一(19ウ)

- 二二 猿山三十六歌仙 勝川春章画 一帖  
 天明九年版本再刻、縦八寸四分、横六寸二分、彩色、天明八年十月猿山周之序文あり、(20才)
- 二三 《天明新鑄／五十人一首》吾妻曲狂歌文庫 北尾政演画 一冊  
 天明六年版(蔦重)、彩色、赤良・菅〔菅〕江等五十人ノ像ノ上ニ狂歌一首ツ、ヲ掲ケタリ、画者政演(山東／京伝)、時年廿八ナリ、  
 1 (20ウ)
- 二四 古今狂歌袋 石川雅望撰 北尾政演画 一冊  
 彩色、狂歌師百人狂態ノ像ニ其ノ詠一首ツ、ヲ掲ク、大田南畝序、平秩東作ノ跋文アリ、  
 1 (21才)
- 二五 江戸名勝一覽 葛飾北斎画 二冊  
 寛政十二年版(蔦重)、縦八寸三分、横五寸七分、彩色、名所二十図ノ上ニ狂歌二三首ヲ載ス、  
 1 (21ウ)
- 二六 隅田川兩岸一覽 《葛飾北斎画／版本》 三冊  
 縦八寸七卜、横六寸、彩色、  
 1 (22才)
- 二七 江戸十二ヶ月図 歌川豊広画 一帖  
 享和四年(和泉屋)、縦八寸三分、横一尺、彩色、図十二面半、每図上辺南杣笑楚満人ノ詞アリ、  
 1 (22ウ)
- 二八 東海道五十三次図 一立斎広重 一帖  
 縦九寸一分、横一尺三寸一分、彩色、五十五図、名ノ下ニ「保永堂」ノ印款アリ、広重壮年ノ作トシルベシ、  
 1 (23才)
- 二九 六十余州名所図会 一立斎広重 一帖  
 縦一尺一寸六分、横八寸二分、彩色、六十九図、  
 1 (23ウ)
- 三〇 富士三十六景 一立斎広重画 一冊  
 縦一尺一寸七分、横八寸四分、彩色、図三十六面、巻首ニ目次アリ、広重翁遺画ト記シ、三亭春馬ノ序アリ、  
 1 (24才)
- 三一 諸国六十八景 一立斎広重画 一帖  
 縦八寸五分、横六寸一分、彩色、六十六図、第四十三図缺ク、  
 1 (24ウ)
- 三二 名所江戸百景 一立斎広重 一冊  
 縦一尺二寸八分、横八寸八分、彩色、百図、江戸并近郊ノ図、  
 1 (25才)
- 三三 五十三次名所図会 一《立》斎広重画 一冊  
 縦一尺二寸三分、横八寸六分、彩色、五十四図、  
 1 (25ウ)
- 三四 双筆五十三次 歌川豊国・一立斎広重合作 一冊  
 縦一尺一寸五分、横八寸三分、彩色、五十四面、此ノ合ハ曾テ画工ノ《双方》両間ニ確執アリシテ、或人調停ノ結果披露ノ為ニ作リタモノニテ、天保末年ノ頃ナラント云フ、人物ハ豊国、景色ハ広重ナリ、  
 1 (26才)
- 三五 錦百人一首あつま織 勝川春章画 猿山書 一冊  
 安永四年版(雁金屋)、縦九寸五分、横六寸四分、彩色、図百面、小倉百人一首作者圖像、  
 1 (26ウ)
- 三六 東海道五十三次 一立斎広画 一帖  
 縦八寸五分、横一尺二寸四分、彩色、五十六図、一張ニ四図ヲ収ム、芝神明前ノ絵草紙店有田屋版、  
 1 (27才)

- 三七 其姿紫の写絵 一陽齋豊国画 一帖  
縦八寸三分、横一尺二寸、彩色、五十二図、二図闕ク、田舎源氏ノ図、 1 (27ウ)
- 八〇 武家百人一首 菱川師宣画 一冊  
縦九寸、横六寸三分、卷中経基王ニ始リ、源義尚ニ終ル、奥云、此武家百人一首世間雖有之、今改度注凶入令板行者也、孟春吉日、筆者東月南周、絵師菱川吉兵衛、鶴屋喜右衛門板 1 (28才)
- 四三 青楼美人合 鈴木春信画 五冊  
明和七年板(丸屋、小泉、舟木)、縦九寸木、横六寸、彩色、江戸新吉原遊女百六十六人ノ図ニ俳句一首ヲ附セリ、卷末奥附ニ云ク、剗刷氏遠藤松五郎、明和七庚寅年六月吉日、通油町丸屋甚八、吉原木屋小泉忠五郎、駿河町舟木嘉助板、 1 (28ウ)
- 四四 絵本江戸土産 立斎広重画 八冊  
嘉永三年至文久元年版、縦六寸、横四寸、彩色、江戸并其ノ近郊名所旧蹟ヲ図セルモノ、金幸堂菊屋幸三郎発行、 1 (29才)
- 五一 東海道五十三次図絵 一立斎広重画 一帖  
縦七寸四分、横八寸九分、彩色、五十六図、画面五寸六分、七寸四分、発行「佐野喜」、 1 (29ウ)
- 五二 忠臣蔵絵 初代歌川豊国画 一帖  
縦七寸、横八寸五分、彩色、十二図、 1 (30才)
- 五三 源氏五十余四帖 二世歌川豊国画 一帖  
縦八寸四分、横五寸九分、彩色、五十四図、田舎源氏絵、「佐野喜」発行、 1 (30ウ)
- 五四 東海道名所風景 二帖  
豊国・広重・芳虎・芳年・貞秀・芳幾・洞郁(惺々暁斎、時ニ周麿)等ノ合作、縦一尺一寸九分、横八寸、彩色、百五十七図、外ニ雑画四枚、文久三年二月將軍家茂上洛道中及大阪「坂」・兵庫・紀州・勢州等ヲモ■并セテ図セリ、和泉屋市兵衛ノ発行、 1 (31才)
- 五六〔五五〕 東都三十六景 二世広重画 一帖  
縦一尺二寸二分、横八寸五分、彩色、三十六図、 1 (31ウ)
- 五六 東海道五十三次図 二世広重画 一帖  
縦八寸二分、横六寸、彩色、図五十六面、將軍上洛ノ様ヲ図セルモノ、 1 (32才)
- 五七 陸奥国塩竈松島図 一帖  
享保年京都茨城多左衛門板、縦一尺強、横五寸四分、彩色、墨板ニ後ニ着色セシモノ、名勝考アリ、松崎祐之題字、柳枝軒茨城方道ノ序文アリ、「福田文庫」印 1 (32ウ)
- 五八 丹後天橋立《之》図  
京都茨城多左衛門板、縦九寸六分、横五寸六分、墨板ニ後ニ設色、「福田文庫」印 1 (33才)
- 五九 和州芳野山勝景図 一帖  
正徳三年、京都茨城多左衛門板、縦一尺二分、横五寸六分、墨刷、後設色、貝原益軒大和めぐり紀事ヲ採レリ、 1 (33ウ)
- 六一 絵本常盤草 西川祐信画 一冊  
寛延二年版、縦八寸九分、横六寸一分、戸内戸外ニ於ケル婦女ノ風俗ヲ写セルモノ、1 (34才)
- 六二 舞樂図 高島千春画 一冊  
文政版本、縦九寸七分、横六寸五分、 1 (34ウ)
- 六〇 安芸国嚴島勝景図 一帖

京都茨城多右〔左〕衛門板、縦九寸六分、横五寸四分、墨板後設色、「福田文庫」 1 (35才)  
六三 〈好古／集覽〉革究図考 一帖

弘化二年板、縦一尺三寸、横七寸一分、彩色、池田義信撰、 1 (35ウ)

六四 大和侍農絵づくし 菱川師宣画 一冊

刊年未詳、縦八寸二分、横六寸九分、墨画後設色、 1 (36才)

六五 葵氏艶譜 双鳩画 三冊

享和三年板、縦八寸五分、横六寸、浪華新町狭斜ノ図、 1 (36ウ)

六六 〈画／図〉四季交加 北尾重政画 二冊

寛政十年（鶴喜）版、墨画、縦七寸二分、横五寸、江戸市街往来ノ図ニテ正月ヨリ十二月ニ至ル、山東京伝ノ詞書アリ、 1 (37才)

六七 手習百人一首 鍬形紹真画 一冊

文政化年中版、縦七寸四分、横五寸三分、彩色、小倉百人一首ノ画ヲ《余白ニ》市川白猿（七代目三升）ノ狂句ヲ賛セシモノ、文化十二年安田躬弦序アリ、奥二、白猿一首の後、悪吟首大尾七代目三升（印） 1 (37ウ)

六八 繪さざれ石 鈴木春信画 三冊

明和三年板、縦七寸五分、横五寸二分、用紙廿八張、墨画、公任撰三十六歌仙詠意ヲ徳川時代ノ風俗ニ表シタルモノ、明和三年禿帚子ノ序アリ、奥二画工讚者（浪華隠士禿帚斎○）及彫工遠孫奎五郎ノ名ヲ列シ、明和三年（丙／戌）正月吉日東都書肆山崎金兵衛梓行トアリ、1 (38才)

六九 画本和歌浦 高木貞武画 三冊

享保十九年版、縦八寸八分、横六寸一分、墨画、三十六歌仙ノ作歌ヲ後世ノ風俗《画》ニ写シタルモノ、画者ノ自序アリ、奥二、享保十九年甲寅歳八月穀旦、浪速書林毛利田庄太郎 1 (38ウ)

七〇 尚古鑑色一覽 二冊

天保年中版、縦九寸、横六寸五分、絹表装、彩色、本間百里撰、天保四年癸巳五月平良秋ノ跋アリ、 1 (39才)

七一 繪本八千代草 鈴木春信画 三冊

明和年中板、縦七寸三分、横五寸二分、墨画、中古歌人三十六人ノ歌意ヲ描キタルモノ、奥二、春信筆繪本目錄アリ、 1 (39ウ)

七二 繪本佳土産 北尾重政画 二冊

明和五年（西村源六）板、縦七寸三分、横五寸一分、墨画、江戸ノ風俗ヲ諸種ノ遊技工業ニ擬シタルモノ、紅翠齋（重政）壯年ノ筆ニテ、鈴木春信・西川祐信等ノ手法ニ似タル処アリト云フ、奥二、東都画工 紅翠北尾重政図（方印）□□、彫工 山口半四郎（方印）□、明和五年戊子《モトノマ》、正月吉、書林、《京都掘川通錦上ル町／西村市郎右衛門同》、《大坂心齋橋筋順慶町／渋川清右衛門版》、《江戸本町／三丁目》 西村源六 1 (40才)

七三 繪本見津和草 西川祐信画 三冊

縦九寸、横六寸三分、墨画、有詞、漢土ノ諺ヲ解シ、其ノ意ヲ図セルモノ、奥二、作者画工花洛大和絵師、西川祐信（印）、彫刻師 浪華 藤村善右衛門、元文第五庚申発行、《宝曆八歳／寅孟春本出》、《大坂北御堂前／毛利田庄太郎》、《江戸大伝馬町三丁目／鱗形屋孫兵衛》、《京都寺町通松原上ル町／菱屋治兵衛板》 1 (40ウ)

七四 〈青楼／和談〉新造図彙 山東京伝画作 一冊

天明九年板、縦六寸一分、横四寸三分、画墨、本草図彙ニ擬シ遊里ノ事物ヲ滑稽ニ図解セリ、作者力諷諷ノ才ヲ見ルベキモノトス、流布本甚タ少シ、為メニ価ノ高価ナル事驚クベシ、自序跋アリ、表紙裏ニ、山東京伝著 書肆 耕書堂梓

1(41才)

八一 〈弘化ノ以前〉御即位庭上之図 一鋪

1(41ウ)

唐紙一枚搦、絵墨、刊年筆ヲ詳ニセス、

七七 繪本倭文庫 西川祐信画 九十卷三十冊

縦七寸四分、横五寸三分、墨画、西川祐信筆繪本ノ叢書ニシテ、大凡一部三卷ツ、ヲ一綴シテ、三十卷即チ三十部ナリ、後年ノ刷本ナリ、

1(42才)

七五 相撲之図式 奥村政信図 五帖

1(42ウ)

縦八寸六分、横六寸、墨画、四十八手ヲ図セルモノ、今十余手ヲ缺ケリ、

七八 古今俳優似顔大全 歌川豊国画 二帖

縦一尺二寸五分、横八寸六分、彩色、錦画、市川家以下俳優ノ肖像ヲ系譜的二描キタルモノニテ、其数二百七八アリ、二代豊国七十七ヨリ七十九歳間ノ筆、菊寿堂ニテ文久二年・元治元年間ニ刊行セシモノ、

1(43才)

七六 棲鳳面譜 二冊

明治卅三年刊(芸艸堂)発行、写真版・木版交、京都竹内棲(栖)鳳ノ作品ヲ印行セシモノ、

1(43ウ) 24

七九 東海道五十三次図 一立斎広重筆 一帖

縦七寸六分、横一尺一寸四分、錦画、初世ノ作品、但江尻・袋井等二三図ヲ缺ク、発行者(中橋(屋号印)\*山田屋)、

1(44才)

九〇 《八》九 元信画集

明治卅六年審美書院発行、

1(44ウ)

九〇 光琳派画集 五冊

明治卅六年至卅九年審美書院発行、

1(45才)

九二 浮世絵派画集

明治卅九年以後審美書院発行、

1(45ウ)

九一 日本名書百選 二冊

明治三十九年審美書院発行、

1(46才)

九三 南宋名画苑

明治卅七年以後審美書院発行、

1(46ウ)

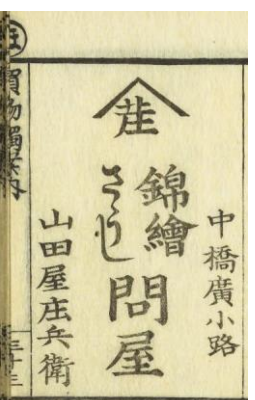
九四 真美大観

明治卅二年以後刊、審美書院発行、

1(47才)

一三五 国華余芳 三帖

\*1 参考…屋号印





- 明治十五年刊、大蔵省印刷局編、設色石板、伊勢内外宮及正倉院御物ノ部、 1 (47ウ)
- 一〇〇 東海道五十三次図 立齋広重画 一帖  
縦五寸七分、横七寸六分、錦画、初代広重中期以後ノ作カ、十九江尻急雨壯歳ノ筆ニ似タリト云フ、 1 (48オ)
- 八五 職人鑑 葛飾北斎画 一帖  
縦七寸九分、横六寸、彩色、葛飾北斎壯年、二代目宗理ト称セシ頃ノ筆、 1 (48ウ)
- 八六 鳥羽絵帖 一帖  
縦四寸余、横六寸、彩色、葛飾北斎、歌川国綱・菊川英山ノ画ケル鳥羽絵雑帖ニテ川柳点ヲ題セリ、 1 (49オ)
- 八七 風流東都八景 葛飾北斎画 一帖  
縦八寸四分、横六寸三分ヨ〔余〕、淡彩、上野の鐘、浅草の晴嵐、両国の秋月、隅川の暮雪、品川の帰帆、待乳の落雁、吉原の夜雨、飛鳥の夕照、 1 (49ウ)
- 八八 三十六歌仙 勝川春章画 一冊  
天明九年版、縦九寸五分、横六寸七分、淡彩、 1 (50オ)
- 九七 錦絵雑帖 百六十六〔枚〕綴 一帖  
縦一尺二寸、横八寸二分、豊国・国芳・広重・国貞（梅蝶楼）・芳員等ノ錦絵ヲ集メタルモノ、 1 (50ウ)
- 九八 錦絵帖 百枚綴 一帖  
縦一尺一寸六分、横七寸九分、豊国筆田舎源氏絵集、 1 (51オ)
- 九九 錦絵帖 七十三枚綴 一帖  
縦一尺一寸七分、横八寸一分、国芳・豊国・国安・英泉・芳艶等ノ美人絵集、 1 (51ウ)
- 九六 〔東海道／五十三次〕絵本駅路鈴 葛飾北斎画 一帖  
縦七寸五分、横五寸三分、設色、日本橋ヨリ袋井駅迄廿八図ヲ収ム、以下京都ニ至ル分ハ未刊ナルベシ、 1 (52オ)
- 九六 〔五十／三駅〕東海道続絵 立齋広重画 一帖  
縦八寸三分、横六寸、江戸日本橋村市所刊、設色、五十六図、人物ヲ主トセル方ナリ、1 (52ウ)
- 〔八四〕東海道五十三次図 立齋広重画 一帖  
縦八寸四分、横六寸、芝神明有田屋板（四切小図）、四ツ切ヲ未タ裁断セサルマ、ノモノナリ、 1 (53オ)
- 一〇一 東都名所両国回向院境内全図  
全 飛鳥山全図  
全 王子稻荷境内全図 立齋広重画 合一帖  
縦一尺二寸五分、横八寸五分、錦絵、每図三枚続、南伝馬町一丁目蔦屋吉蔵刊、 1 (53ウ)
- 一〇二 錦絵帖 一帖  
縦一尺二寸五分、横七寸一分、十五枚綴、鳥居清満・全清長・全清経・勝川春章・勝川春好・初代豊国等雑集、 1 (54オ)
- 一〇三 錦絵帖 細田栄之《等》画 一帖  
縦一尺三寸、横八寸五分、細田栄之・歌川豊広・喜多川歌麿・勝川春扇・菊川英山等雑帖七枚、 1 (54ウ)
- 一〇四 〔錦絵〕妙法寺恵方参図 〔歌川豊広画／二枚缺〕 一帖

- 縦一尺一寸、横八寸二分、  
 一〇五 《錦絵》 婦人行旅図 初代歌川豊国画 一帖 1 (55才)
- 縦一尺二寸八分、横八寸三分、乗馬轎ノ婦人ヲ骨子トセル図、背景富士山、  
 一〇七 《錦絵》 寺子屋図 初代歌川豊国画 一帖 1 (55ウ)
- 縦一尺二寸八分、横八寸五分、寺子屋師弟ヲ婦人ニテアラハス、西村刊、  
 一〇八 《錦絵》 三番叟五人囃図 《初代歌川豊国画ノ八枚続》 一帖 1 (56才)
- 縦九寸、横五寸九分、童子八人二三番叟・五人囃ニ配セルモノ、雛節供用ニ充テタルナリ、  
 一〇九 《錦絵》 三人娘 《二代歌川豊国画ノ三枚続》 一帖 1 (56ウ)
- 縦一尺二寸九分、横八寸六分、国貞ト称セル頃ノ作、  
 一一〇 《錦絵》 忠雄義臣録 《二代国輩《豊国》画ノ十二枚続》 一帖 1 (57才)
- 縦八寸七分、横一尺二寸、演劇忠臣蔵十二段ノ図、  
 一一一 《錦絵》 俳諧七福神 《二代豊国画ノ七枚続》 一帖 1 (57ウ)
- 縦一尺式寸、横八寸四分、婦人ヲ七福神ニ見立テタル図、柳下亭種員俳句ヲ添ヘタリ、  
 一一二 《錦絵帖》 二代豊国画ノ六十九枚 一帖 1 (58才)
- 縦一尺二寸九分、横八寸五分、雜綴、  
 一一三 《錦絵》 紫式部源氏かるた 《梅蝶〔蝶〕楼国貞画ノ五十四枚》 一帖 1 (58ウ)
- 縦一尺一寸五分、横八寸一分、田舎源氏繪、  
 一一四 《錦絵》 当世松の葉 《溪斎英泉画ノ三枚》 一帖 1 (59才)
- 縦一尺二寸六分、横八寸三分、一中・新内・清元ノ三歌曲ヲ三婦人ニ配セルモノ、  
 一一五 《錦絵》 娘行列大井川図 《溪斎英泉画ノ三枚》 一帖 1 (59ウ)
- 縦一尺二寸八分、横八寸六分、総州屋与兵衛版、大井川ヲ渡る図、  
 一一六 《錦絵》 高繩娘行列図 溪斎英泉画 一帖 1 (60才)
- 縦一尺三寸、横八寸五分、趣向大井川ニ同シ、板モ亦同シ、  
 一一八 《錦絵》 踊形容江戸繪榮 《二代豊国画ノ三枚続》 一帖 1 (60ウ)
- 縦一尺二寸一分、横八寸四分、劇場ノ図、濃州屋安兵衛板、  
 一一九 《錦絵》 擣衣玉川図 《一勇斎国芳画ノ三枚続》 一帖 1 (61才)
- 縦一尺二寸三分、横八寸四分、婦人擣衣ノ図、  
 一二〇 《錦絵》 武勇見立十二支 一勇斎国芳画 一帖 1 (61ウ)
- 縦一尺二寸五分、横四寸六分、頼豪ヲ子ニ、鬼童丸ヲ丑ト云フ如ク、古武人ヲ十二ノ支ニ配シタルモノナリ、  
 一二一 《錦絵帖》 《一勇斎国芳等画ノ三十一枚》 一帖 1 (62才)
- 縦一尺二寸一分、横八寸二分、国芳及五雲亭貞秀等ノ美人画、  
 一二二 東海道名所図會 《歌川芳虎画ノ十二枚》 一帖 1 (62ウ)
- 縦一尺二寸八分、横八寸一分、將軍入洛ノ図ナリ、  
 一二三 《錦絵》 忠臣蔵七段目延鏡図 湖龍齋画 一鋪 1 (63才)
- 縦二尺三寸（今《二ツ》折ニ作ル）ヨ〔余〕、丹絵、  
 一二四 《錦絵》 鷹匠図 勝川春扇画 一鋪 1 (63ウ)
- 縦二尺三寸（今二ツ折ニ作ル）、丹絵風、  
 一 (64才)

- 一二五 〈錦絵〉美人図 菊川英山画 一鋪  
縦二尺三寸(今ニツ折ニ作ル)、 1(64ウ)
- 一二六 江戸一覽図 鍬形蕙齋画 一鋪  
青藜閣板、縦九寸七分、横七寸、 1(65才)
- 一二七 東海道五十三次一覽図 葛飾北齋画 一鋪  
嵩山房板、縦九寸七分、 1(65ウ)
- 一二八 唐土地図 葛飾北齋 一鋪  
青雲堂板、縦九寸、一覽図ナリ、 1(66才)
- 一二九 江戸名所四十八景 立齋広重画 一帖  
葛吉版、縦八寸二分、横六寸、広重全盛時代ノ筆ナリ、 1(66ウ)
- 一三〇 〈東ノ都〉高名会席画 〈二代豊国等画ノ四十八枚綴〉 一帖  
縦一尺式寸、横八寸五分、通油町ふじ慶板、錦絵、江戸割烹店ノ図(立齋広重作)、俳優似顔(二代豊国作)ノ両筆ニテ配当ノ様ハ、割烹店玉屋ニ玉屋新兵衛、巴屋ニ巴御前、相模屋ニ相模平清ニ平相国ヲ配シタルカ如シ、皆名称上ニ図アルナリ、 1(67才)
- 一三二 絵本小松原 西川祐信画、卷下一冊、零本  
宝曆十一年版、縦八寸三分、横六寸、士女風俗図、 1(67ウ)
- 一三四 諸国六玉川 一立齋広重画 一帖  
丸久板、縦一尺三寸ヨ〔余〕、横八寸七分、錦絵、山城井出、摂津擣衣、近江野路、紀伊高野、武藏調布、陸奥野田ノ六ツ玉川ノ図、 1(68才)
- 一三四〔一三五〕 絵本栄家種《サカエグサ》 勝川春潮画 二冊  
寛政二年版本和泉屋市兵衛、縦七寸一分、横五寸一分、彩色、女子一代ノ歷程ヲ図セルモノ、27  
春湖ハ勝川春章高足弟子ニシテ、殊ニ婦人画ニ至テハ師ニ過クル所アリト云フ、 1(68ウ)
- 一三七 絵本古金Ⅱ〔糸蘭〕〔欄〕 鈴木春信画 三冊  
宝曆十三年西宮新六版、縦七寸、横五寸、平常ノ行事ニ四季ノ景物ヲ添ヘテ図セルモノニテ、 1(69才)  
毎図古歌ヲ題セリ、 1(69才)
- 一三八 西行和歌修行 菱川師宣画 三冊  
天和二年酒田屋版、縦八寸九分、横六寸、西行物語ヲ浮世絵風ニ《ニ》図セルモノ、上層ニ詞書アリ、跋ニ、大和絵師菱川吉兵衛尉 1(69ウ)
- 一四一 東瀛珠光  
明治四十一年以後刊、審美書院所刊、宮内省蔵版、奈良正倉院御物、 1(70才)
- 一四〇 本朝三十家名画集 一冊  
明治三十九年、国華社発刊、隆能・覚猷・光長・慶恩・信実・隆兼・如拙・雪舟・雪村・啓書記・相阿弥・光信・元信・永徳・友松・松花堂・又兵エ・探幽・守景・光起・師宣・光琳・大雅・蕪村・応挙・呉春・抱一・文晁・華〔華〕山、木版色刷、 1(70ウ)
- 一四二 光琳乾山傑作集 一冊  
明治卅九年、国華社刊、各図説明及序論共ニ英文、 1(71才)
- 一三九 円山派画集 二冊  
明治四十、審美書院刊、応挙及其ノ門流ノ傑作ヲ集メタルモノ、 1(71ウ)
- 一四三 支那名画集  
明治四十、審美書院刊、本邦ニ伝ハレル唐宋以後ノ名画ヲ収ム、 1(72才)

一四四 白鶴帖 二冊

明治四十年刊、縦一尺四寸八寸、横九寸九分、兵庫県灘御影町素封嘉納治兵衛所蔵ノ美術品類ヲ図録セルモノ、上巻ハ青瑯玕・勾玉等ヲ収メ、下巻ハ聖武天皇以下写経等六十一點ヲ収ム、白鶴ハ其ノ家醸名ニ取レリト云フ、

「(72ウ)

一四五 和漢名画選 一冊

明治四十一年刊、国華社発行、日本支那画百點ヲ収メタルモノ、

「(73オ)

一四六 東洋美術大観

明治四十一年以後刊、審美書院所刊、和漢画及ヒ彫刻優秀ナルモノヲ漸次刊行スルモノナリ、

「(73ウ)

〔ママ〕 美術宝庫 第一至一一号 十一冊

明治廿八年九年刊、東京画博堂発行、徳川時代及ヒ明治年間主トシテ浮世派名家ノ作ヲ木板色搦トシテ刊行セルモノナリ、

「(74オ)

一五〇 妙蹟図録

明治四十九年以後刊、

「(74ウ)

一五三 駿河舞 喜多川哥麿画 三冊

寛政三年板、縦七寸三分、横五寸一分、江戸名所ニ人物ヲ配シ、狂歌一首つゝヲ収メタル図、二十余面アリ、

「(75オ)

一五二 禅月大師十六羅漢 一冊

明治四十二年刊、男爵高橋是清所蔵

「(75ウ)

一五一 野山靈宝集 一冊

明治四十二年刊、高野山金剛峯寺ノ堂舎及ヒ什物ノ重ナルモノヲ写真石板ニセルモノ、什物ニハ絵画・彫刻・筆蹟・美術工芸品ノ優レタルモノヲ国華社ノ板行セルナリ、

「(76オ)

「(76ウ)

七ノ三 挿画本 (特ニ絵画ヲ以テ伝フヘキモノニ限ル)

写本 版本

一 志洒婦具紗 写本 原本

高崎牛長撰、長谷川雪堤等画、縦一尺三分、横七寸一分、彩色、文政十二年巳丑江戸大火ノ記事ニシテ、撰者ノ文ニ斎藤彦麿ノ点削アリ、又図画ノ上辺ニ同人ノ題歌アリ、古畑周・東条為一ノ序及杉山熙ノ跋アリ、

「(77オ)

二 さころものさうし 写本 二冊

縦一尺六分、横七寸五分、頁十行、着色金泥交、奈良画風、狭衣物語ヲ御伽草子ニ翻案シタルモノ、

「(77ウ)

三 四十二の物あらそひ 写本 一冊

縦一尺一寸、横八寸二分、匡郭天地二辺双線、着色金泥交、奈良絵風、

「(78オ)

四 日蓮上(聖)人註画讚 写本 五卷一冊

縦八寸五分、横六寸、頁十行、々不定、着色金泥交、絵巻ヲ冊子ニ作更タルモノ、本ト漢文ヲ和約シタルモノ、如シ、巻末表紙ニ「安友筆印」トアリ、

「(78ウ)

五 三人ほうし 古写本 三冊

綴帖製、縦八寸、横五寸八分、頁十行、々廿字、着色金泥交、奈良絵風、御伽草紙、表紙描

金樹木等ノ図、

「(79才)

六 古今著聞集 写本 函入 廿冊

粘葉製、縦七寸七分、横五寸五分、金〇(糸蘭)〔欄〕表紙、極彩色金泥入、頁十行、々約廿字、狩野風絵、建長六年橘成季著ストコロノ著聞集ニ絵ヲ加ヘタルモノナリ、毎冊ノ首尾表紙内面ニ有文、金紙ヲ用装潢美ナリ、

「(79ウ)

一六 ぶん志やうの草紙 写本 三冊

粘葉綴、縦八寸、横六寸八分〔表紙紺描金模様、見返シ銀紙板模様〕、彩色金銀泥交、奈良絵風、頁十行、々凡廿字、

「(80才)

一七 花鳥風月 写本 二帖

粘葉綴、縦七寸七分、横五寸六分、〔表紙緑地金〇(糸蘭)〔欄〕、見返ノ金泥〕、頁十行、々凡廿字、彩色金銀泥交、奈良絵風ノ進歩セルモノ、御伽草紙風ノ文、

「(80ウ)

二四 善光寺の縁起 写本 三冊

粘葉製、縦七寸七分、横五寸五分、表紙紺地描金草花、頁十行、々凡廿字、彩色金銀泥交、奈良絵風、御伽草紙風文、

「(81才)

(白紙)

「(81ウ)

七類ノ三 挿画本 板本

七 〈大坂ノ宗因〉かるくちはなし 板本 三冊

延保《宝》八年板、鶴喜、頁十五行、落語集、

「(82才)

一〇 姿絵百人一首 板本 菱川師宣画 三冊

元禄八年版、木下、縦七寸四分、横五寸四分、墨刷、

「(82ウ)

一一 〈頭ノ書〉伊勢物語 板本 菱川師宣画 二卷一冊

松舎板、縦八寸七分、横六寸二分、

「(83才)

一二 若草源氏 板本 梅翁撰 奥村政信画 十一冊

元文三年大坂伊丹屋新七版、縦七寸五分、横五寸三分、源氏物語ヲ俗語ニ写シ、平仮字交リノ文、画者ノ名ハ第八冊第二張ノ図中ニアリ、

「(83ウ)

二三 夢物語 板本 菱川師宣画 一冊

縦九寸、横五寸九分、一日ヨリ晦日マテ夢想ノ吉凶ヲ記シ図解セルモノ、奥ニ、右之書は秘伝の一冊をもつて板行する者也、絵師 菱川筆、大伝馬町三丁目 鱗形屋開板

「(84才)

二四 女今川 板本 菱川師宣画 一冊

元禄十三年江戸伊勢屋清兵衛板、縦八寸九分、横六寸、始ニ沢田きち女ノ序文、次ニ挿画、次ニ条々ヲ挙ケテ所々挿画アリ、奥ニ、元禄十三年へ庚ノ辰ノ天正月吉日

「(84ウ)

二五 若草物語 板本 奥村政信画 二卷一冊

縦六寸、横四寸二分、頁十三行、按察大納言ノ子少将ト、大納言ノ妻兄前関白ノ女若草姫ト恋愛ノ事ヲ述ヘタルモノ、卷末ニ、享保六年丑正月吉日、現本豊芥子ノ旧蔵、

「(85才)

一八 もみぢ傘 上巻題号 板本

江戸すゞめ 下巻題号 二卷一冊

享保十三年板、縦七寸五分、横五寸三分、頁十二行、笑話ヲ集メタルモノ、刊行ノ記ナキヲ補書シテ「享保十三へ戊ノ申年正月吉日 板元横山町二丁目近江屋九兵衛」トアリ、

「(85ウ)

二〇 うすゆき物語 板本 二卷一冊

貞享三年版、縦六寸一分、横四寸三分、絵ハ菱川師宣ナルベシ、奥ニ、貞享三年寅三月吉日、浅草観世音裏御門通 書林 桑村半蔵、「檜崎文庫」ノ印アリ、

「(85オ)

二二 名古屋文菊女之譽 板本 一冊

縦六寸四分、横四寸四分、頁十四行、瀬川采女・菊之前ノ情事ヲ述ベタリ、絵ハ菱川師宣ナラシ、奥ニ、大伝馬町三丁目 鱗形屋板、卷末余白ニ、萩子信重省ノ識語アリ、「中井文庫」印

「(86ウ)

二三 おちくぼのさうし 板本 一冊

縦七寸四分、横五寸一分、頁十四行、落くほ物語を御伽風に作れるものなり、絵は菱川師宣なるべし、卷末に、これは百五七拾年のいにしへ開板せしものとおほゆ、ことし文化十年三月中浣表装を補ふ 式亭、「式亭」「三馬」「好文堂」印あり、

「(87オ)

一九 飾馬考 板本 二冊 淀藩的癖《場》勝美撰

安政四年板、縦八寸三分、横五寸、彩色挿図、馬具裝飾ヲ歴史的ニ記載セリ、

「(87ウ)

二三 曲中年中行事 板本 十返舎一九詞書 喜多川歌麿画 二冊

享和四年（改元／文化）、上総屋忠助梓、縦七寸四分、横五寸三分、墨刷、

「(88オ)

（白紙）

「(88ウ～91オ)

明治四十四年三月廿日ヨリハジメテ、四月十四日脱稿ス、他日一校スベシ、

「(91ウ)